



11 奥州磐城平城下絵図（文政13年（1830）12月22日） 延岡市内藤記念館



12 奥州磐城平御城下之圖 明治大学博物館（内3-23-10-34-6附）

13 磐城平城下絵図 (岩城平ノ絵図) (寛政元年(1789)閏6月) 個人蔵

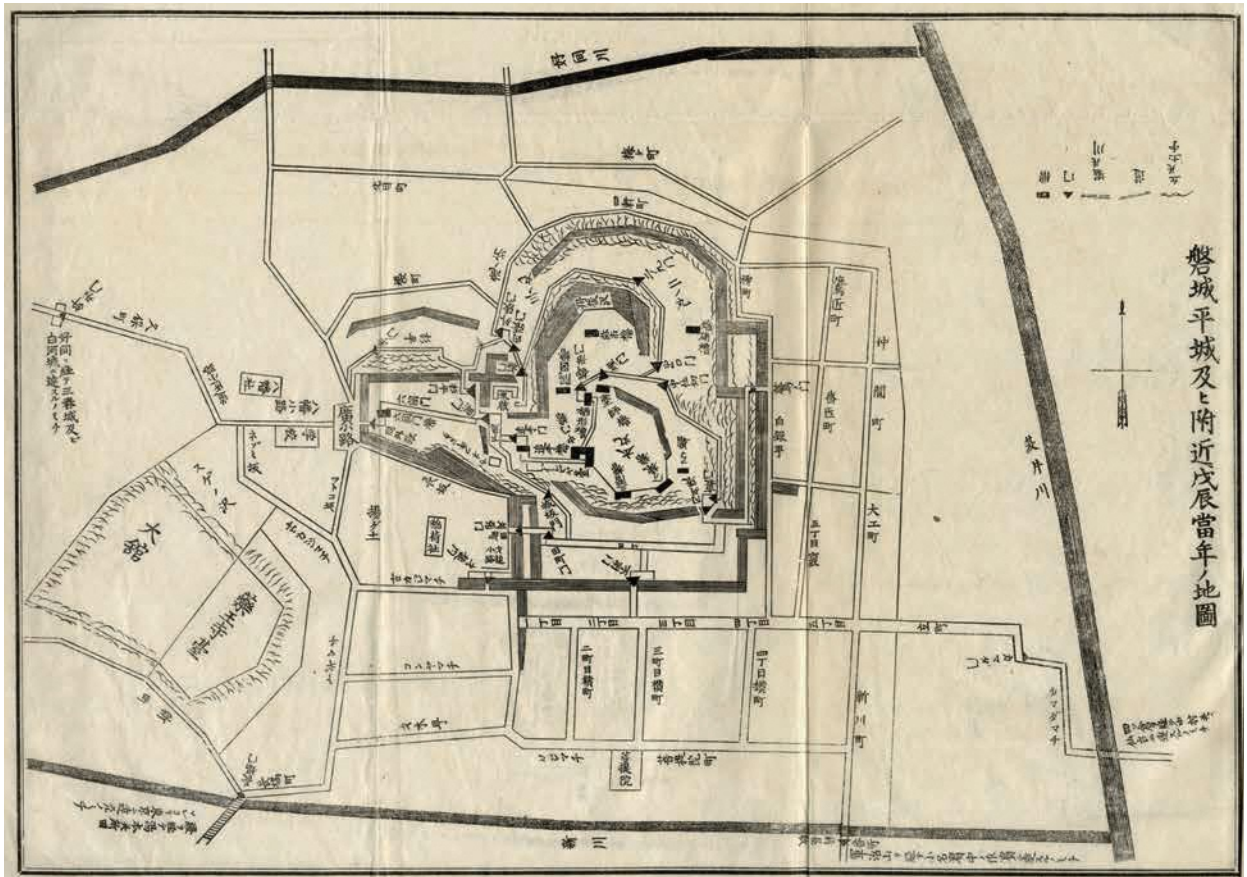


14 磐城平御家中絵図 個人蔵





15 磐城平城御家中絵図 個人蔵

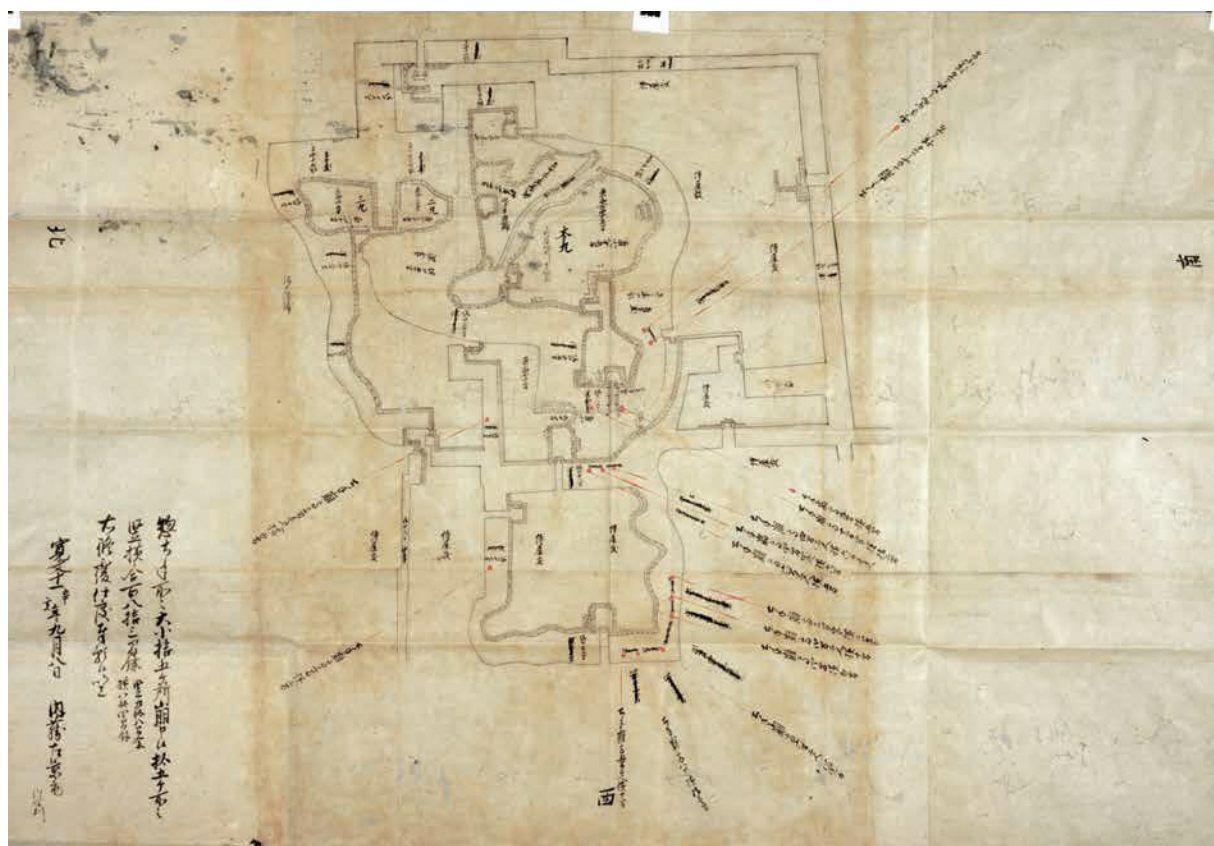


16 磐城平城及附近戊辰當年ノ地図 (明治36年(1903)) 味岡 1903

17 岩城平城内外一覽圖(昭和10年(1935)1月) 原本所在未詳

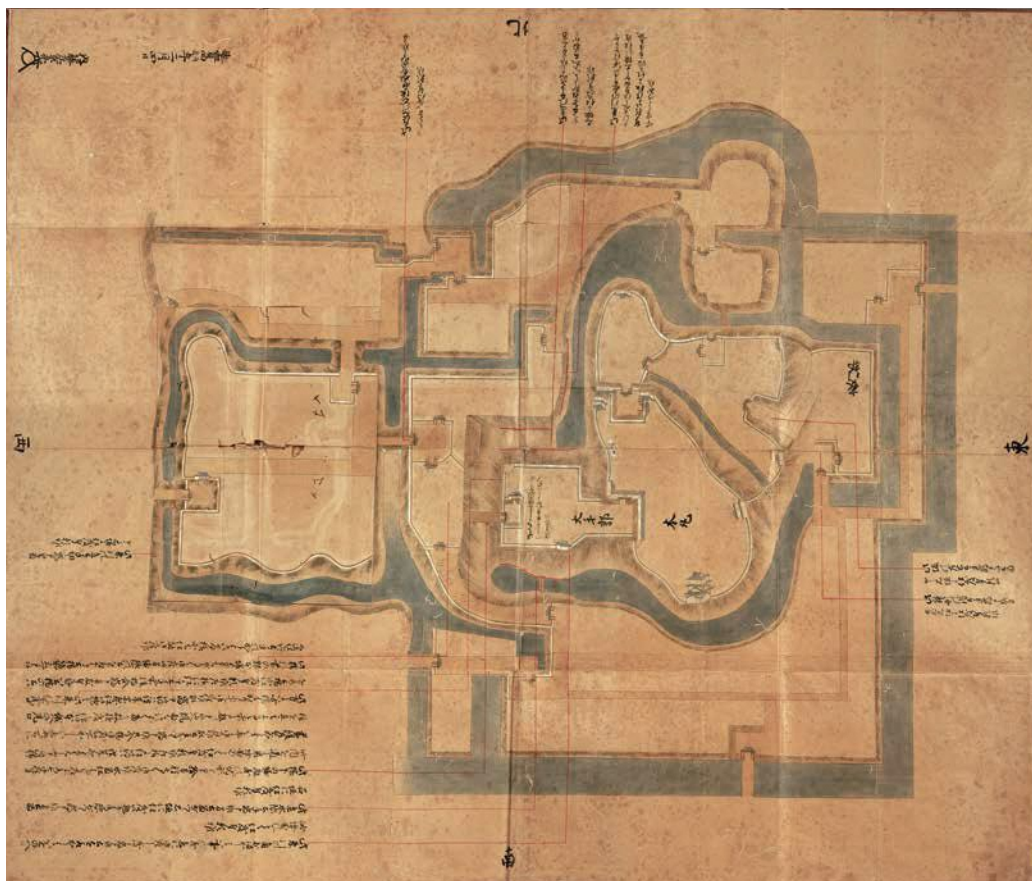


18 岩城城修復願絵図(寛文11年(1671)9月8日) 明治大学博物館(内3-23-10-34-1)



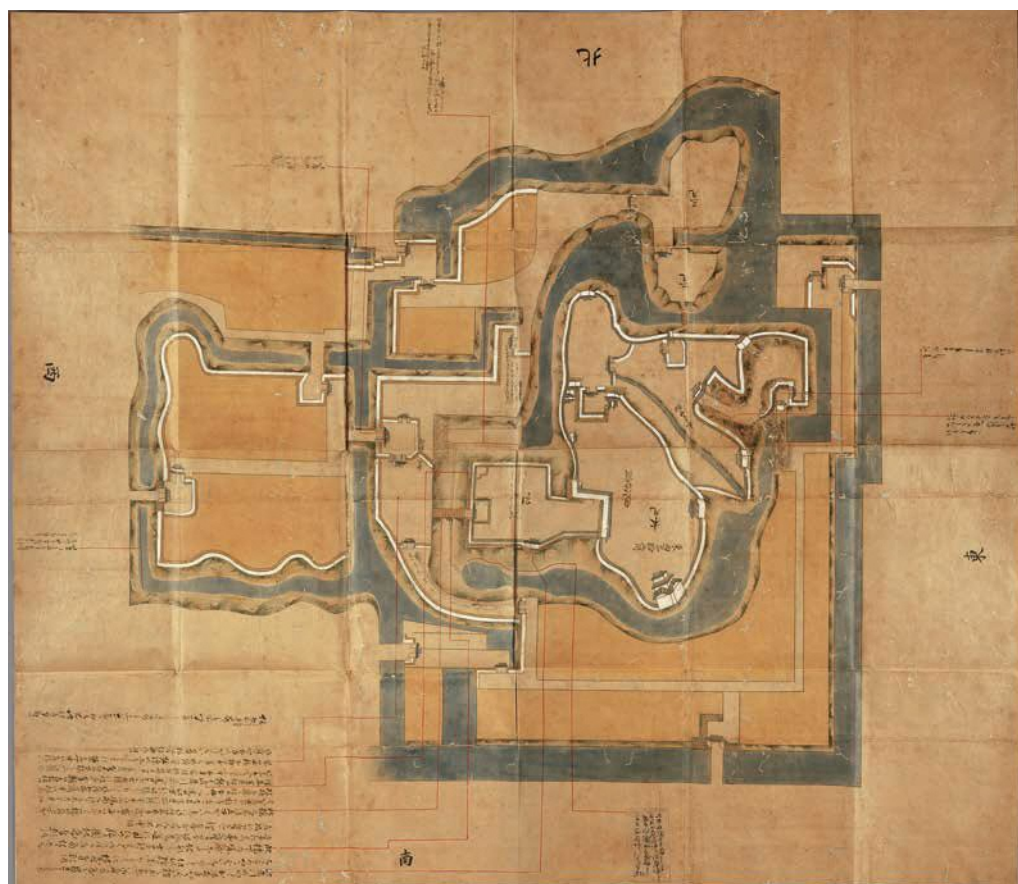
〔史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覚書」参照〕絵図記載の文字資料について〔18〕参照

19 磐城御城修理願下絵図(延宝4年(1676)2月4日)
明治大学博物館(内3-23-10-34-2-1)



〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覚書」参照／絵図記載の文字資料について「19」参照〉

20 磐城御城修理願下絵図(延宝4年(1676)2月力)
明治大学博物館(内3-23-10-34-2-2)



〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覚書」参照〉

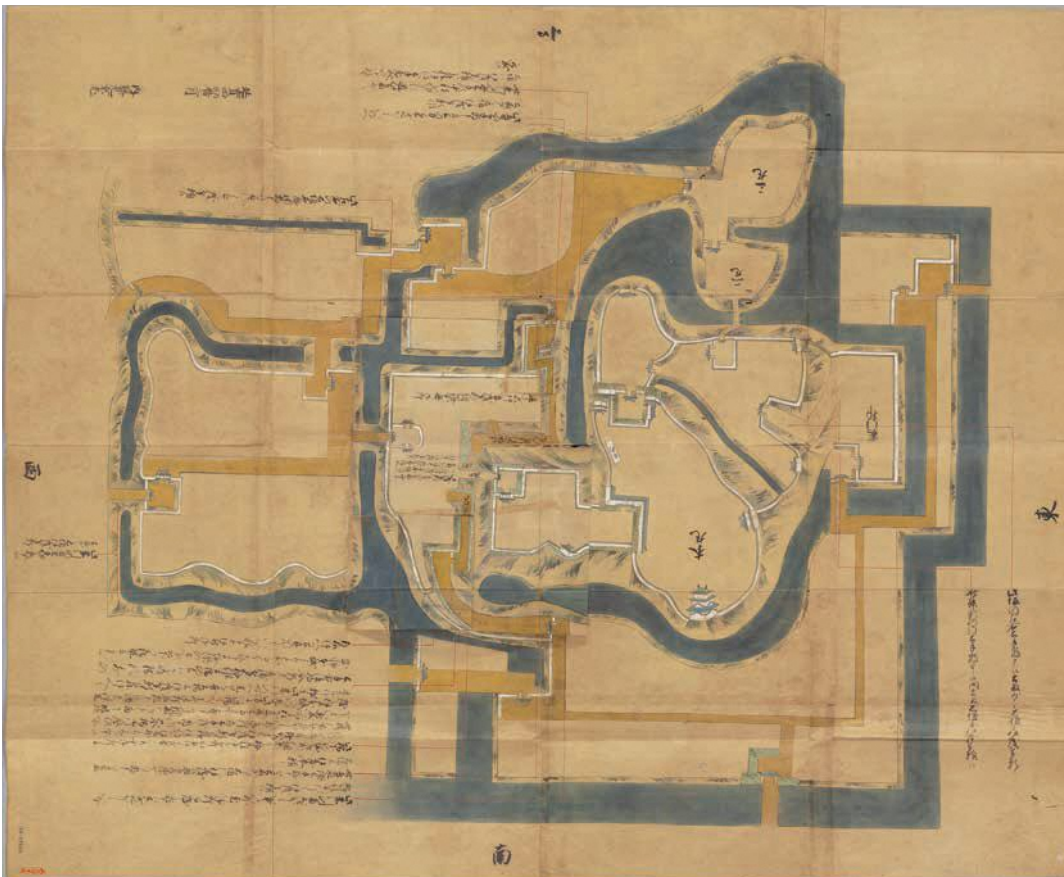
〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覺書」参照〉



21 磐城御城修理願下絵図(延宝4年(1676)2月)

明治大学博物館(内3-23-10-34-2-3)

〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覺書」参照〉



22 磐城之城絵図(延宝4年(1676)2月)

明治大学博物館(内3-23-11-37-19)

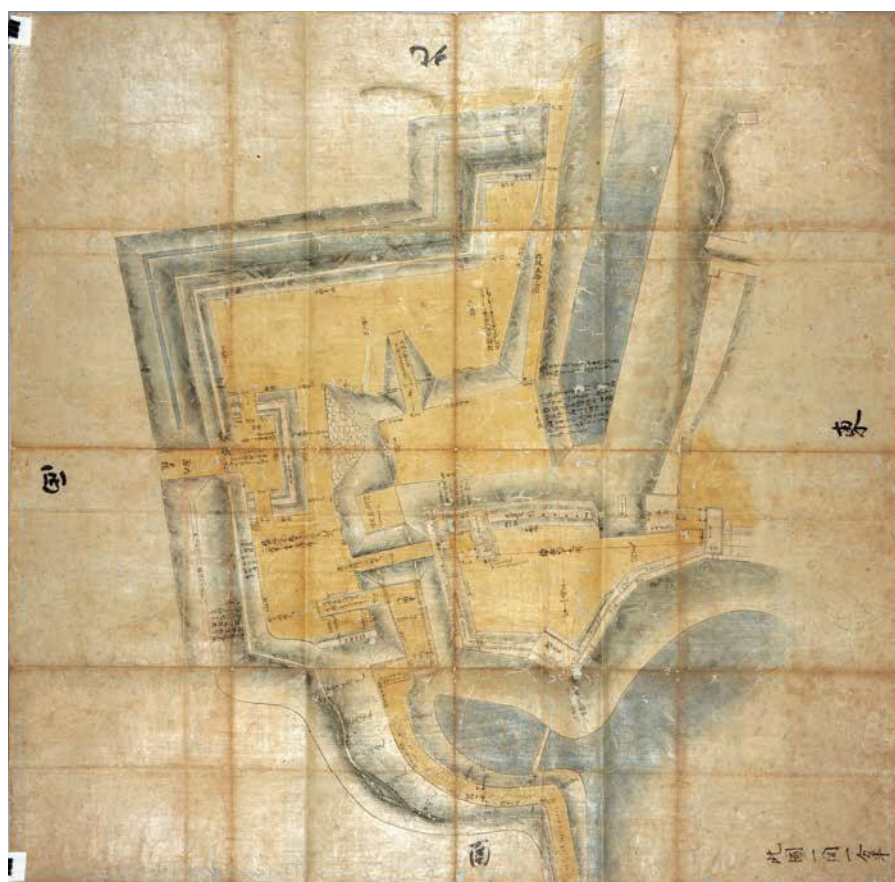
〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覚書」参照〉



23 磐城御城絵図 (延宝4年 (1676) 2月)

明治大学博物館 (内3 | 23 | 10 | 34 | 8)

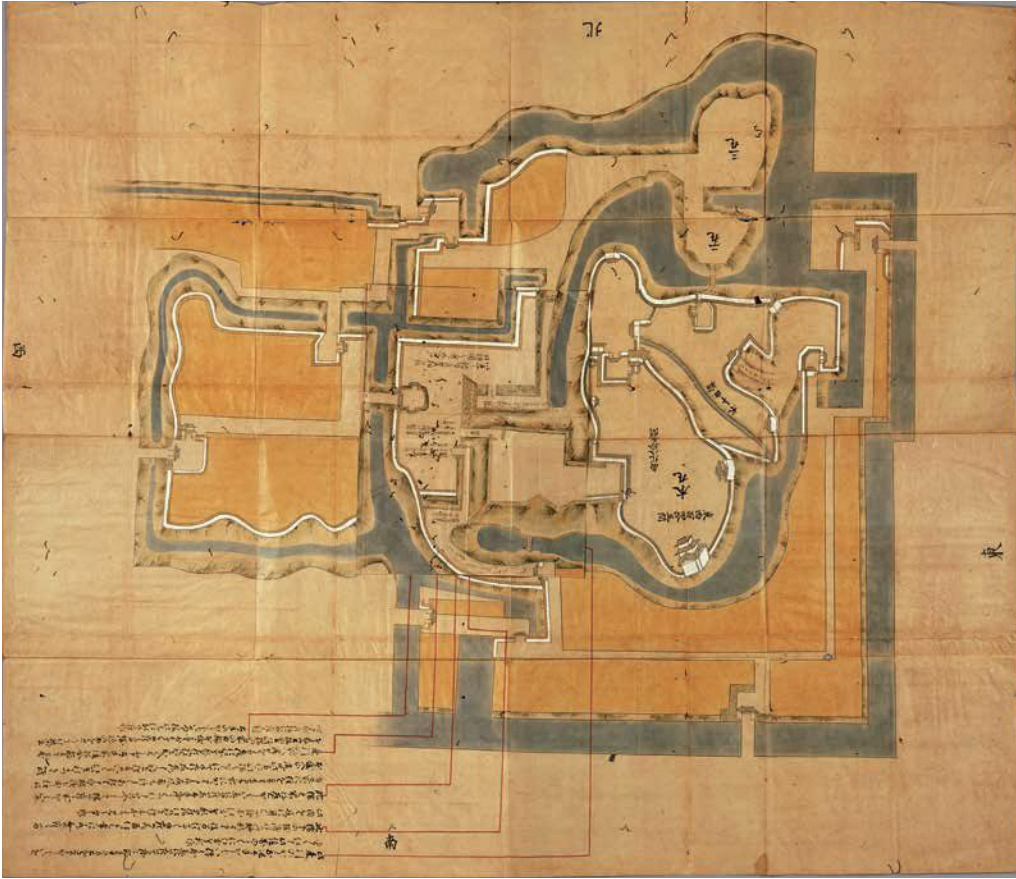
〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覚書」参照〉



24 磐城平城新図 (延宝4年 (1676) 2月)

明治大学博物館 (内3 | 23 | 10 | 34 | 7)

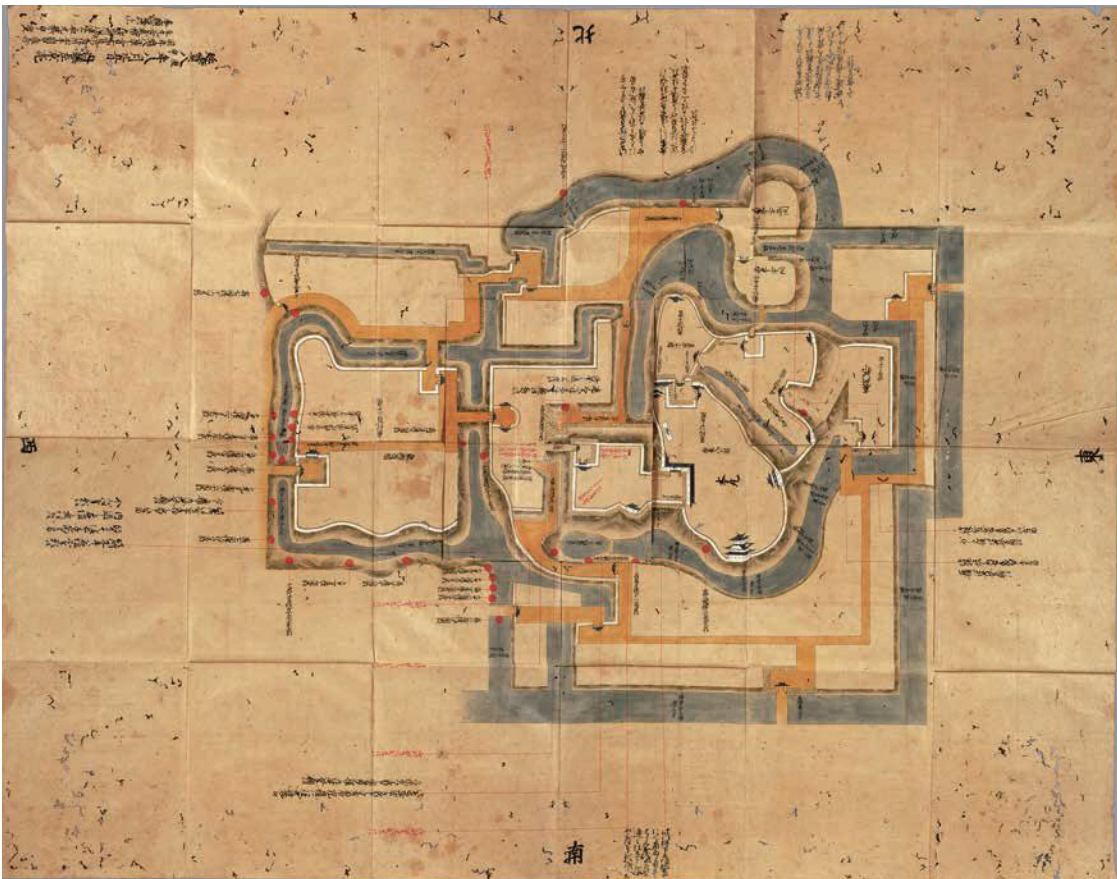
〔史料編7〕「岩城御領内大風雨大波洪水之節覺書」参照



25 磐城国平城之図 (延宝4年(1676)2月)

明治大学博物館(内3-23-10-34-5-3)

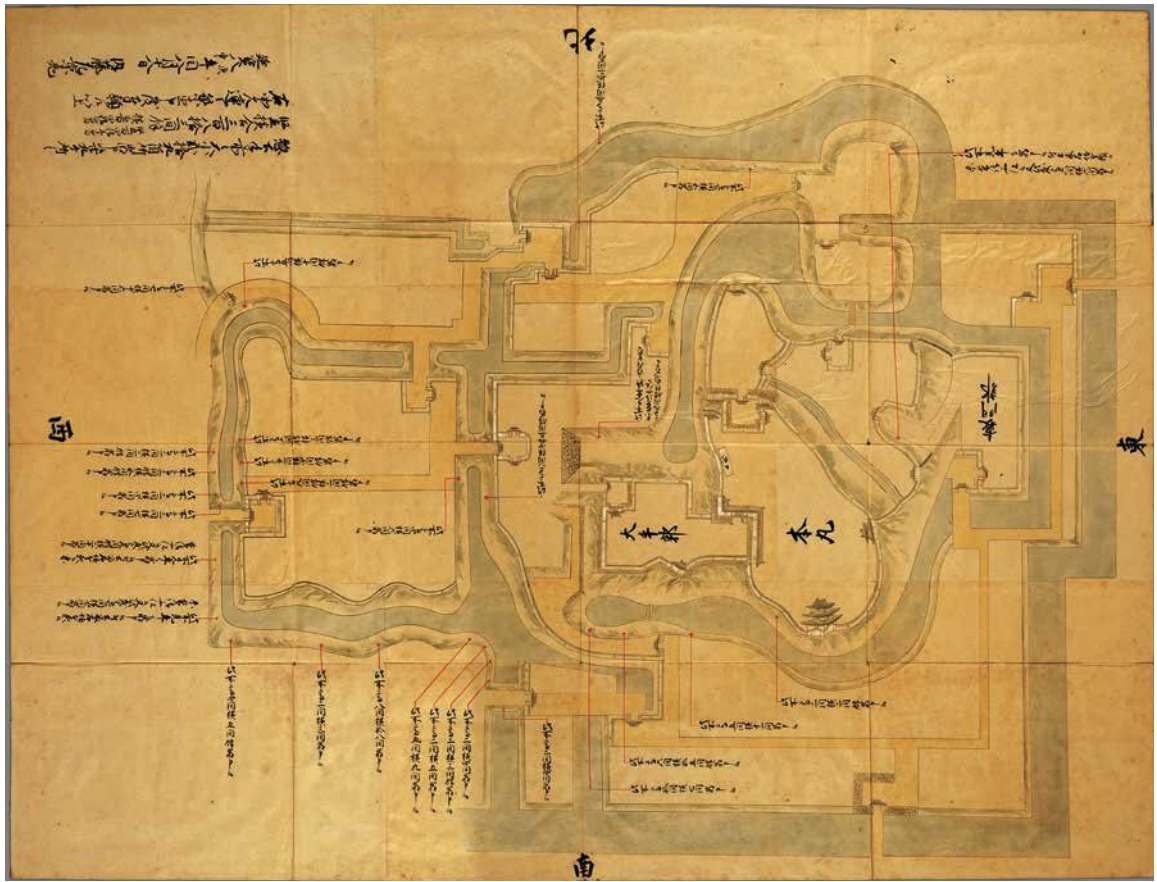
〔史料編7〕「岩城御領内大風雨大波洪水之節覺書」参照



26 磐城国平城内修理下絵図 (延宝8年(1680)8月25日)

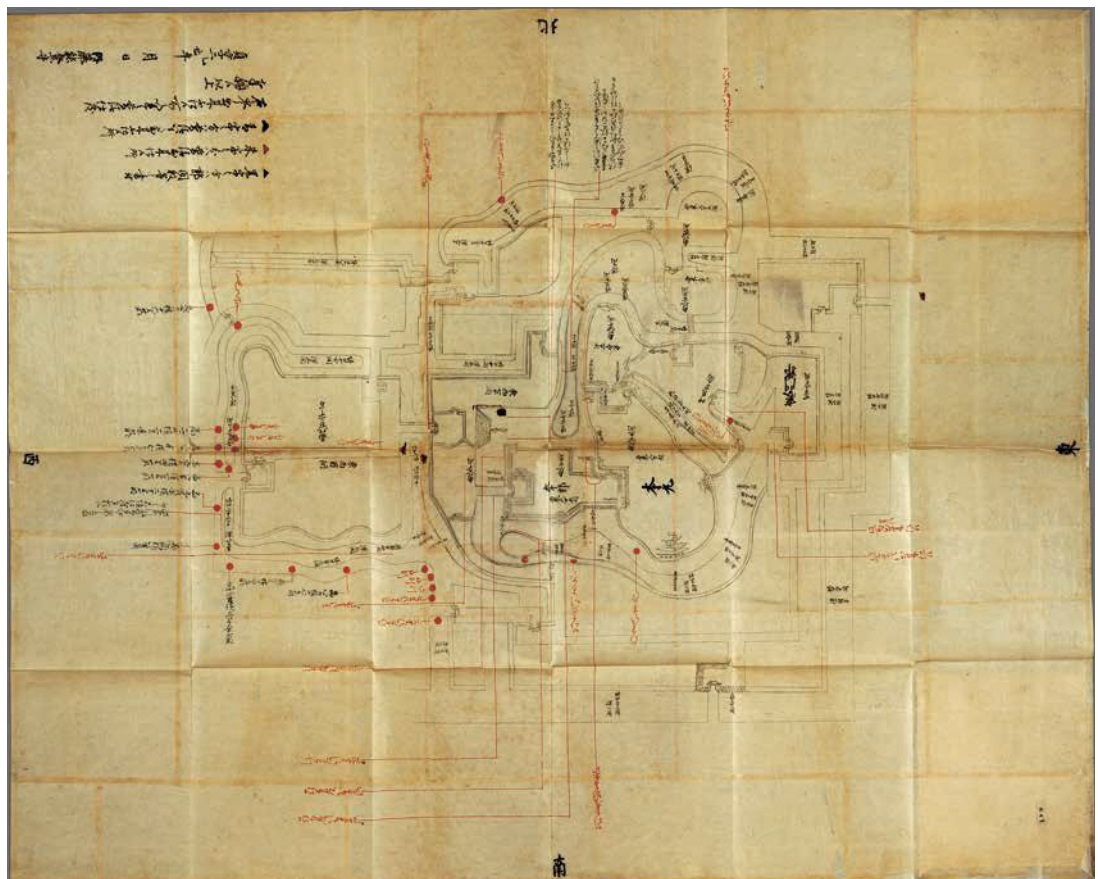
明治大学博物館(内3-23-10-34-3-1)

27 岩城平城改築ノ絵図（延宝8年（1680）閏8月18日）
明治大学博物館（内3―23―10―34―3―2）

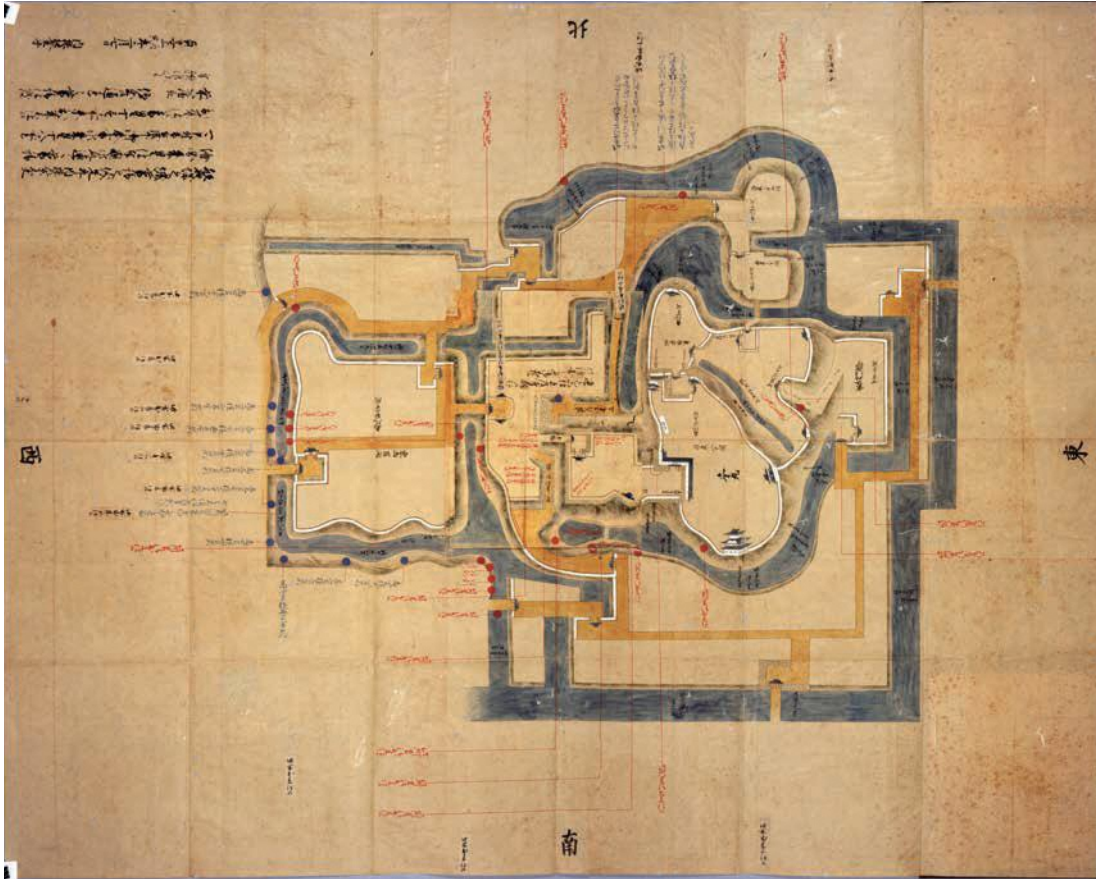


〈史料編7「岩城御領内大風雨大波洪水之節覚書」参照／絵図記載の文字資料について「27」参照〉

28 岩城之城修理願絵図（貞享2年（1685））
明治大学博物館（内3―23―10―34―4）



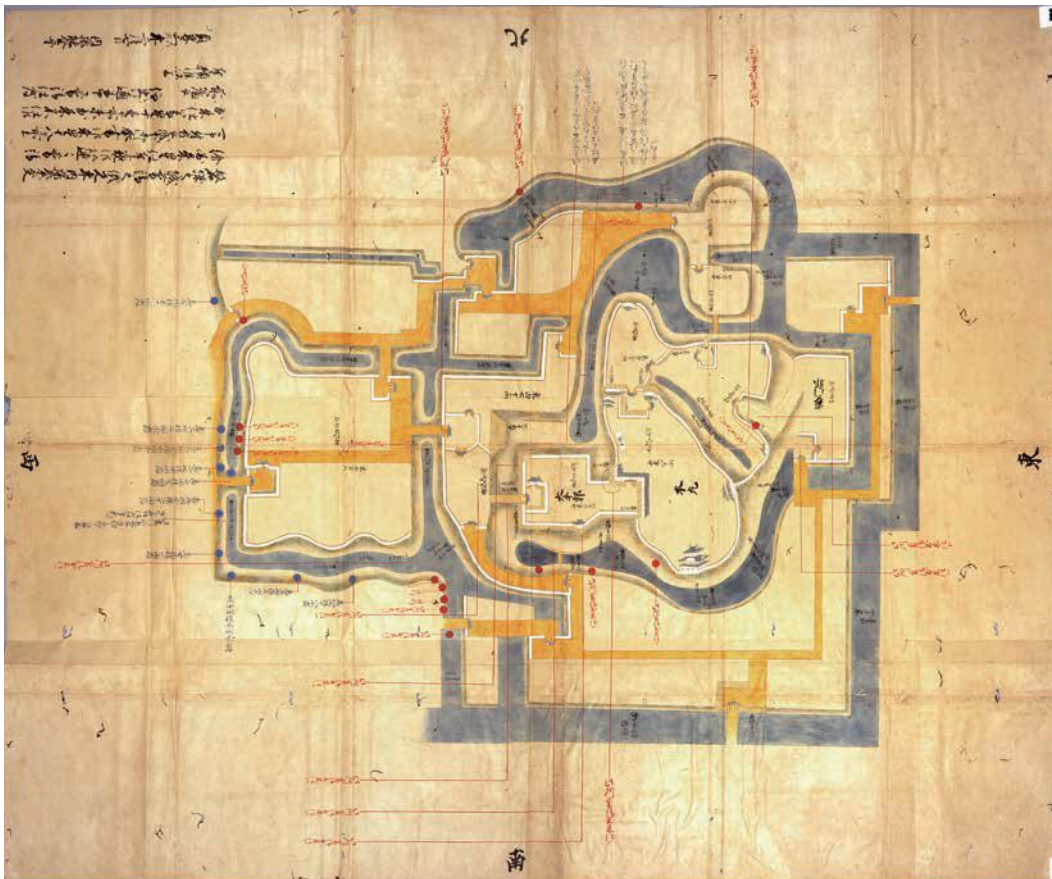
〈絵図記載の文字資料について「29」参照〉



29 奥州磐城之城絵図（貞享3年（1686）2月7日）

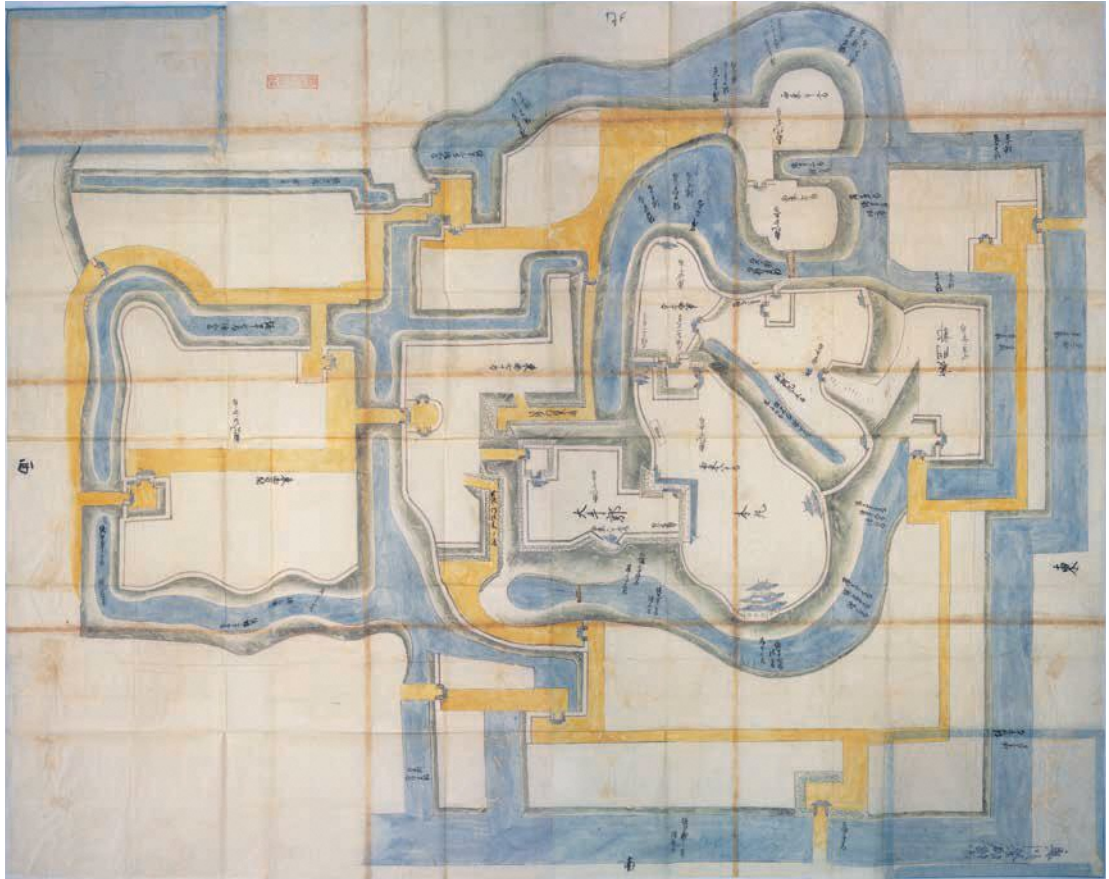
明治大学博物館（内3―23―10―34―5―1）

〈絵図記載の文字資料について「30」参照〉



30 岩城城廓之図（貞享3年（1686）2月7日）

明治大学博物館（内3―23―10―34―5―2）



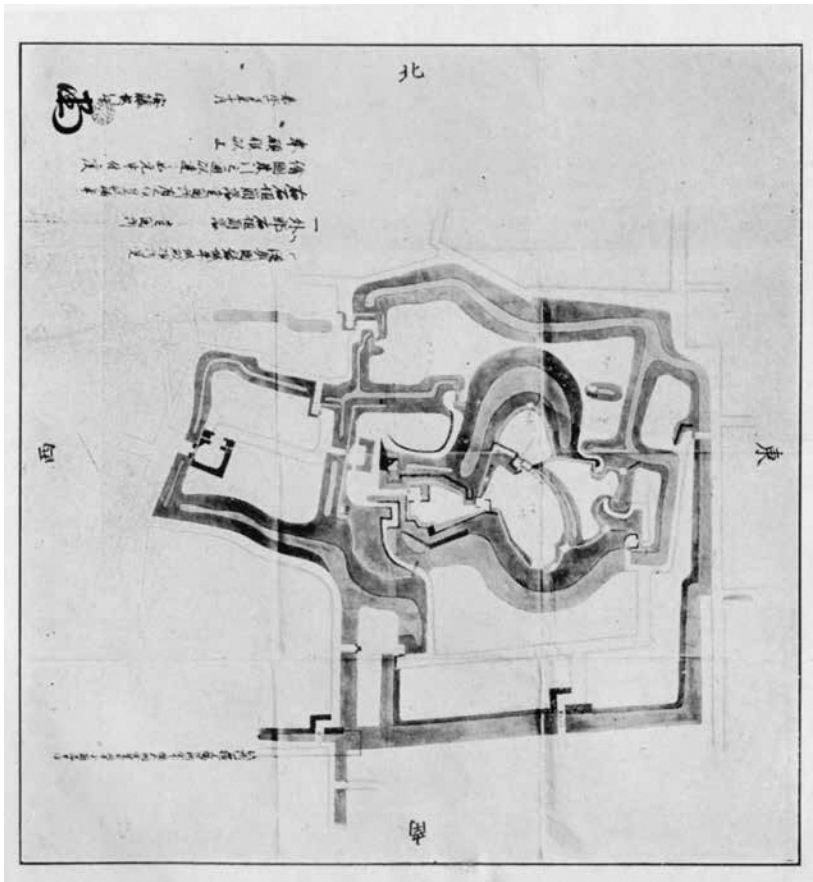
31 奥州磐城絵図 静嘉堂文庫



32 陸奥国磐城平城絵図(寛政7年(1795)3月) 個人蔵

〈絵図記載の文字資料について「32」参照〉

〈絵図記載の文字資料について「33」参照〉



33 陸奥国磐城平城絵図（嘉永6年（1853）10月）藤沢 1914



34 岩城平城図（延享4年（1747）8月カ）

明治大学博物館（内3-23-10-34-6）

35

陸奥国磐城平御城図（安藤氏時代力）

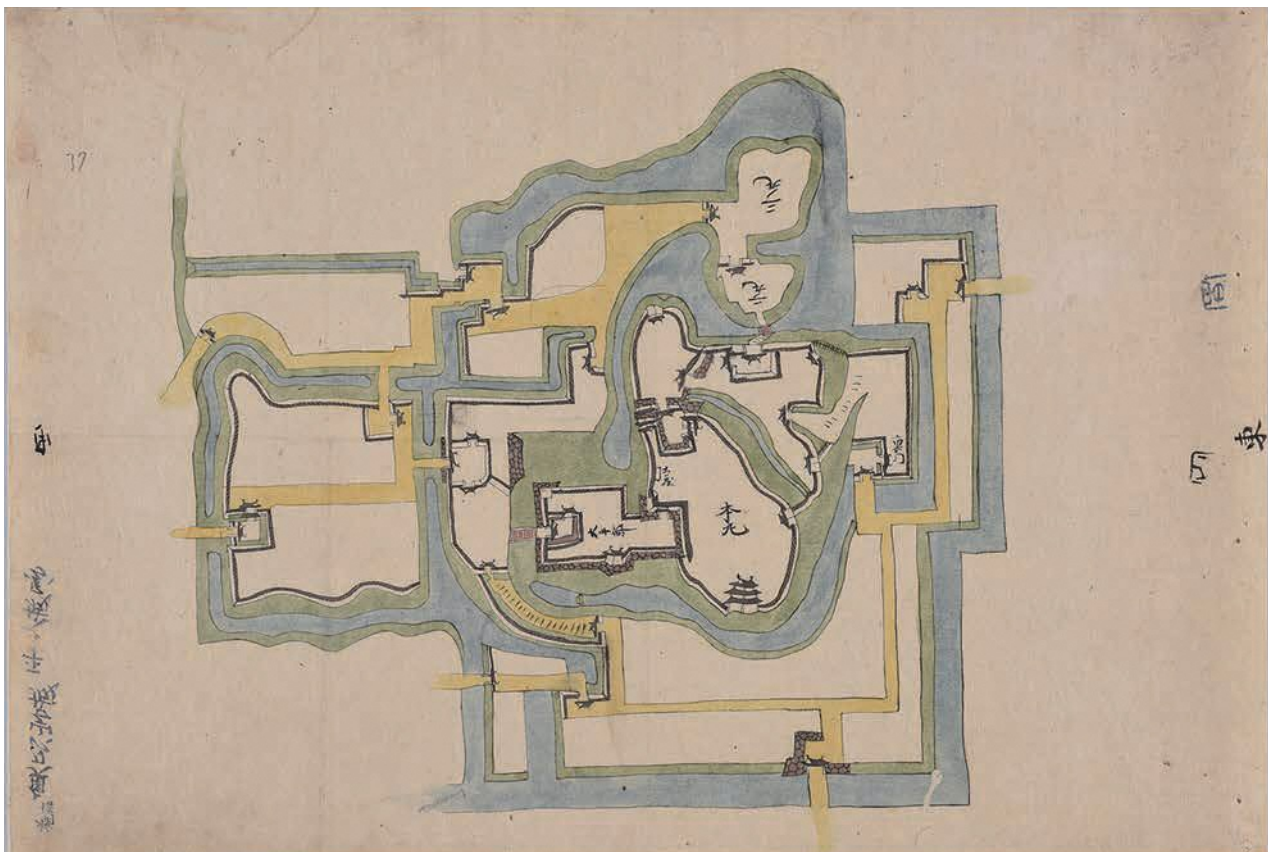
個人蔵

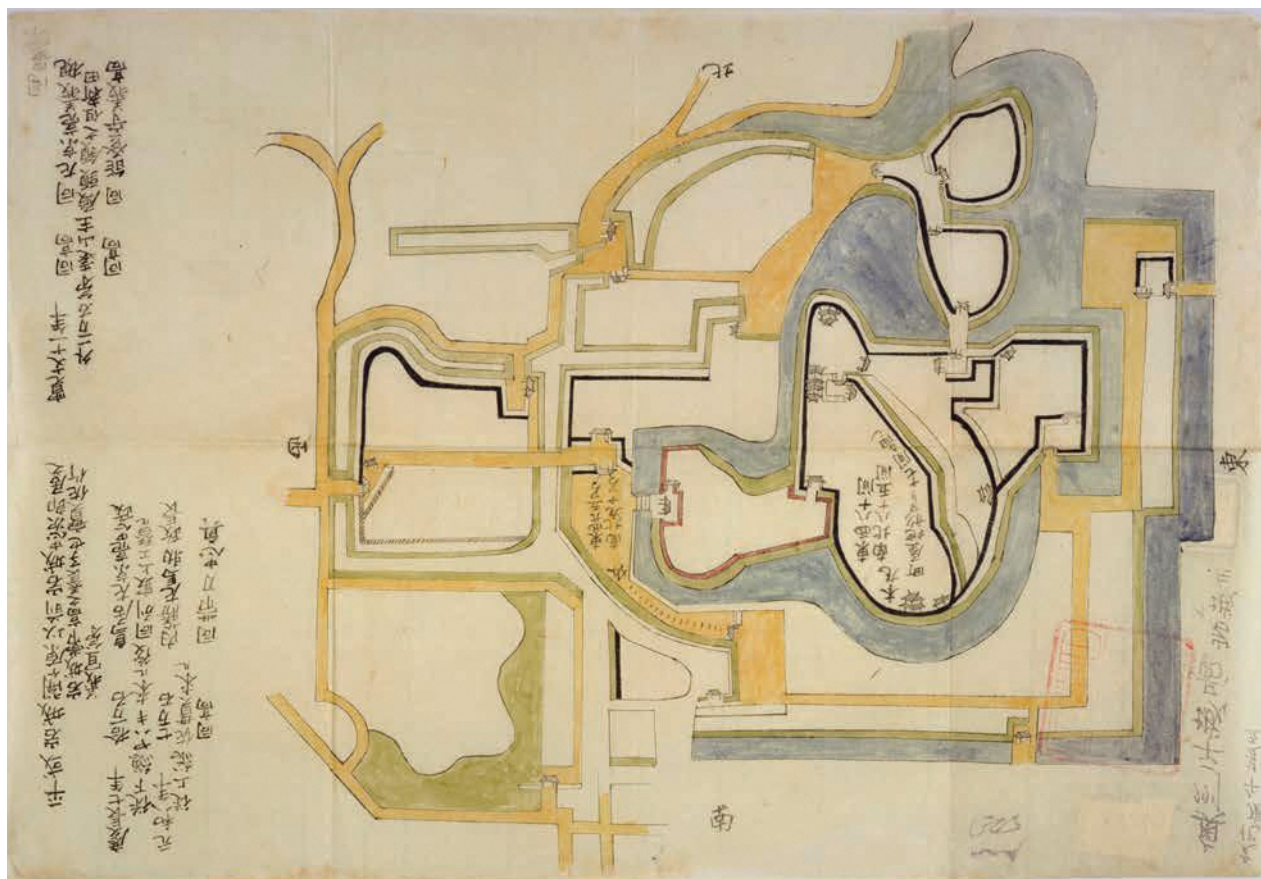
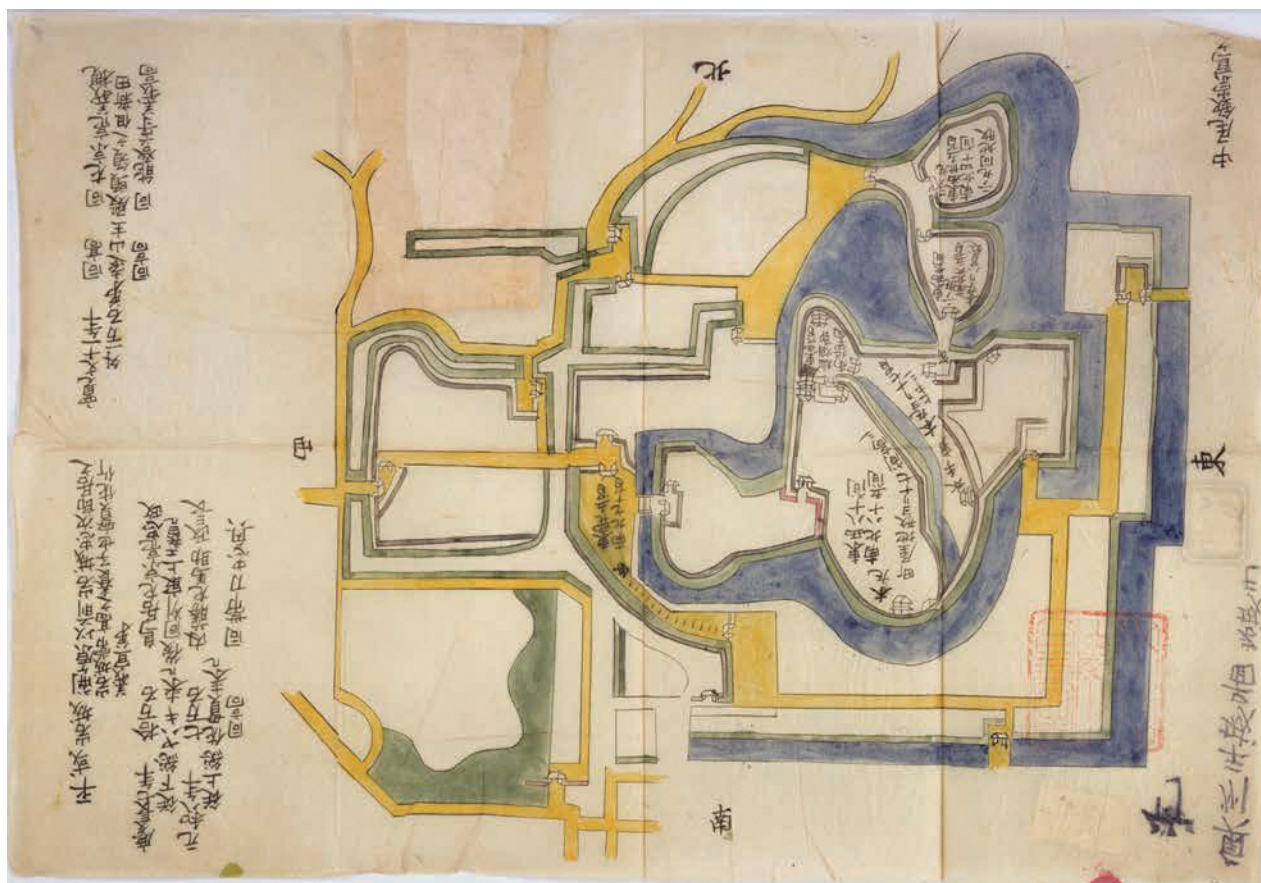


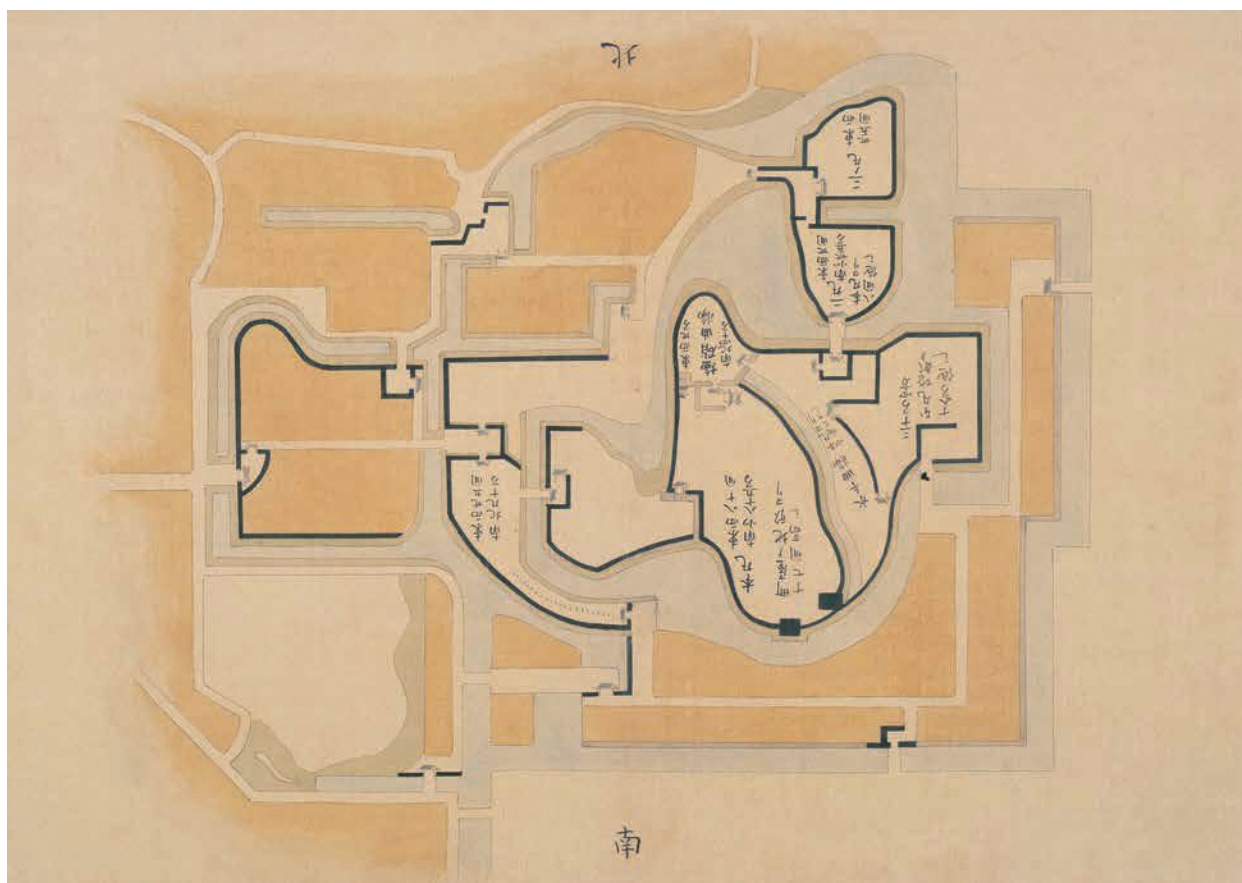
36

奥州岩城平之城図（元禄5年（1692）以前）

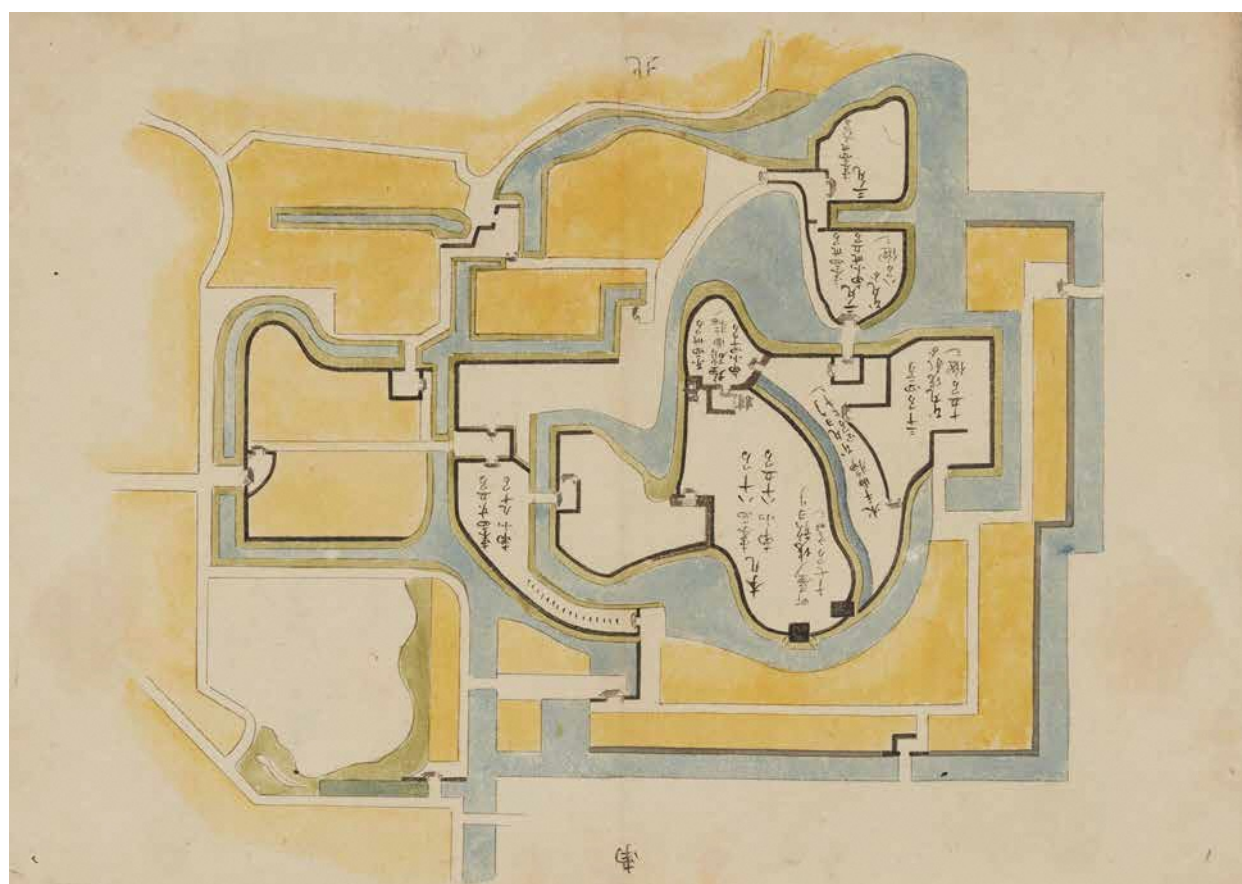
松江歴史館







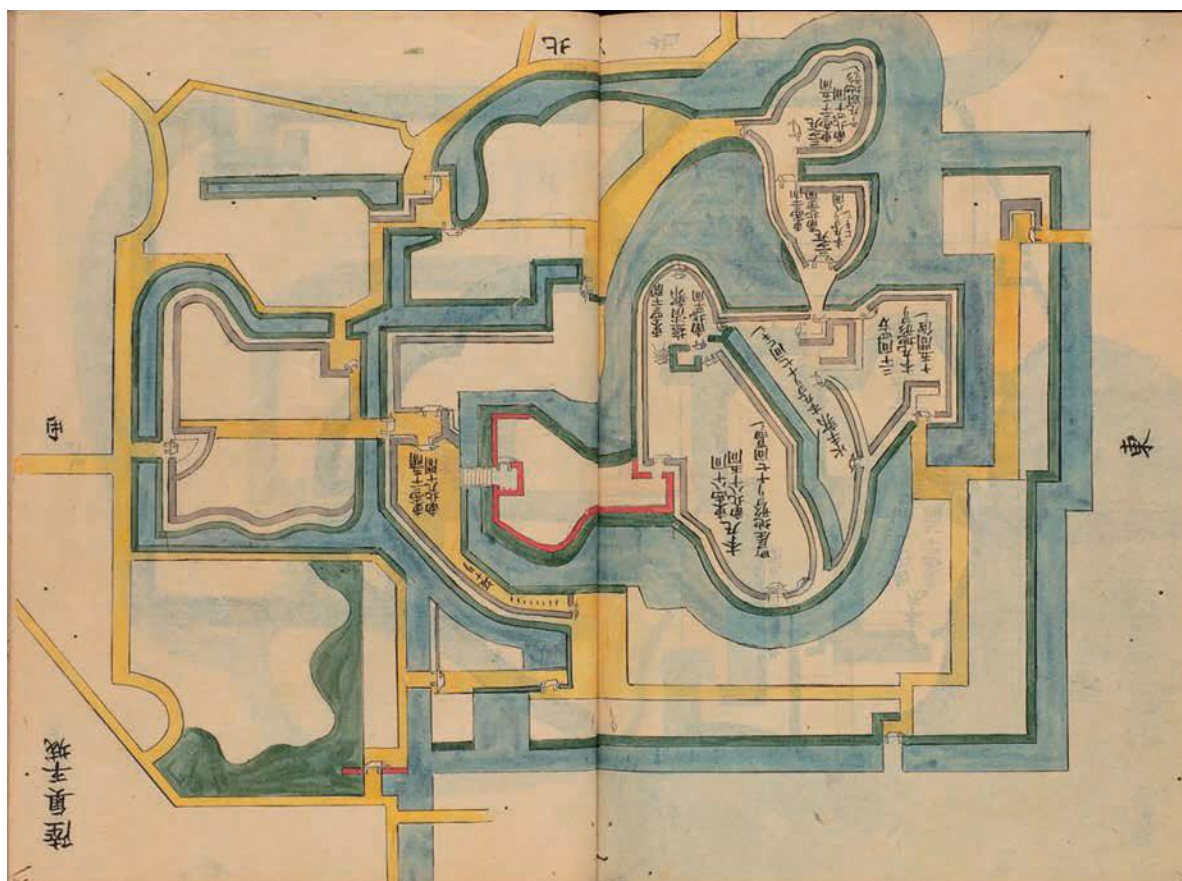
39 奥州岩城略図 公益財団法人前田育徳会（尊経閣文庫）（国書506-12）



40 奥州岩城略図 公益財団法人前田育徳会（尊経閣文庫ラ6-10）（国書507-4）

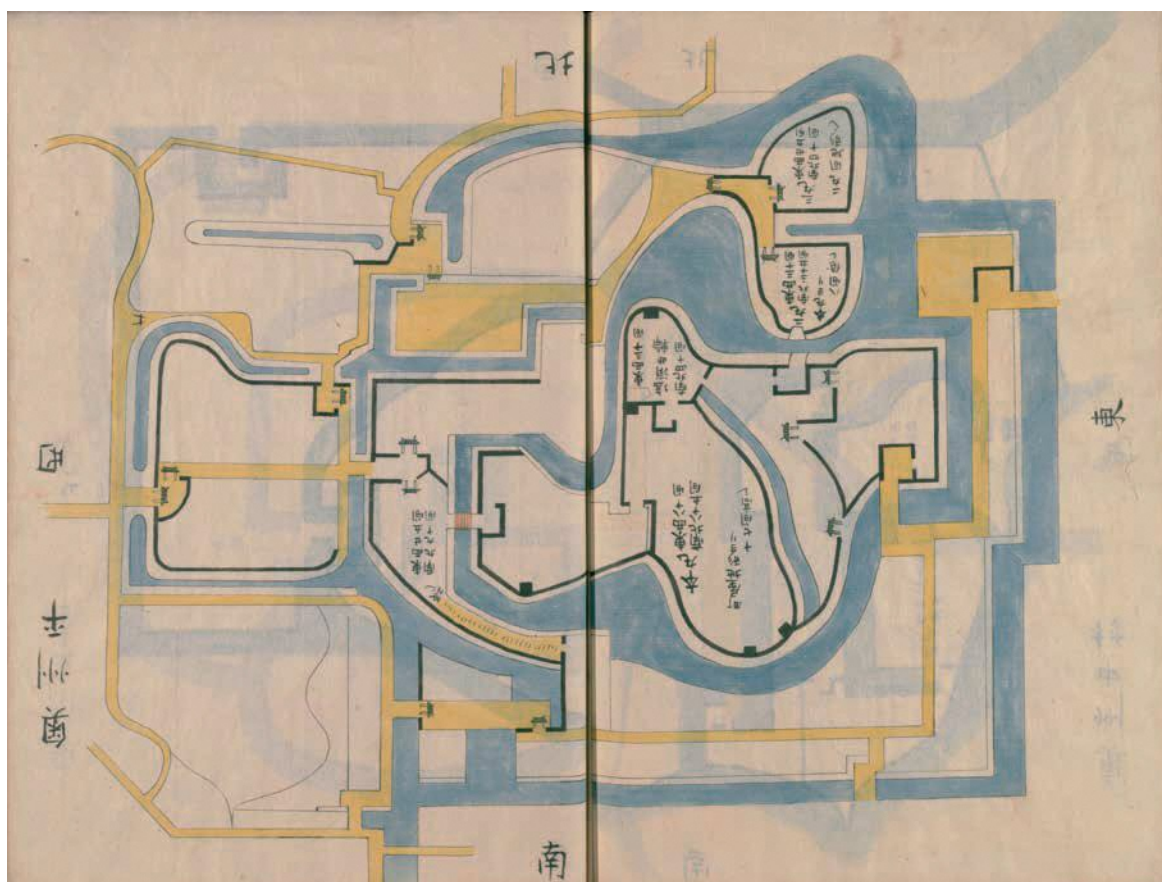
41 陸奥平城図（江戸時代中期）

東京国立博物館デジタルライブラリー（QB11220）

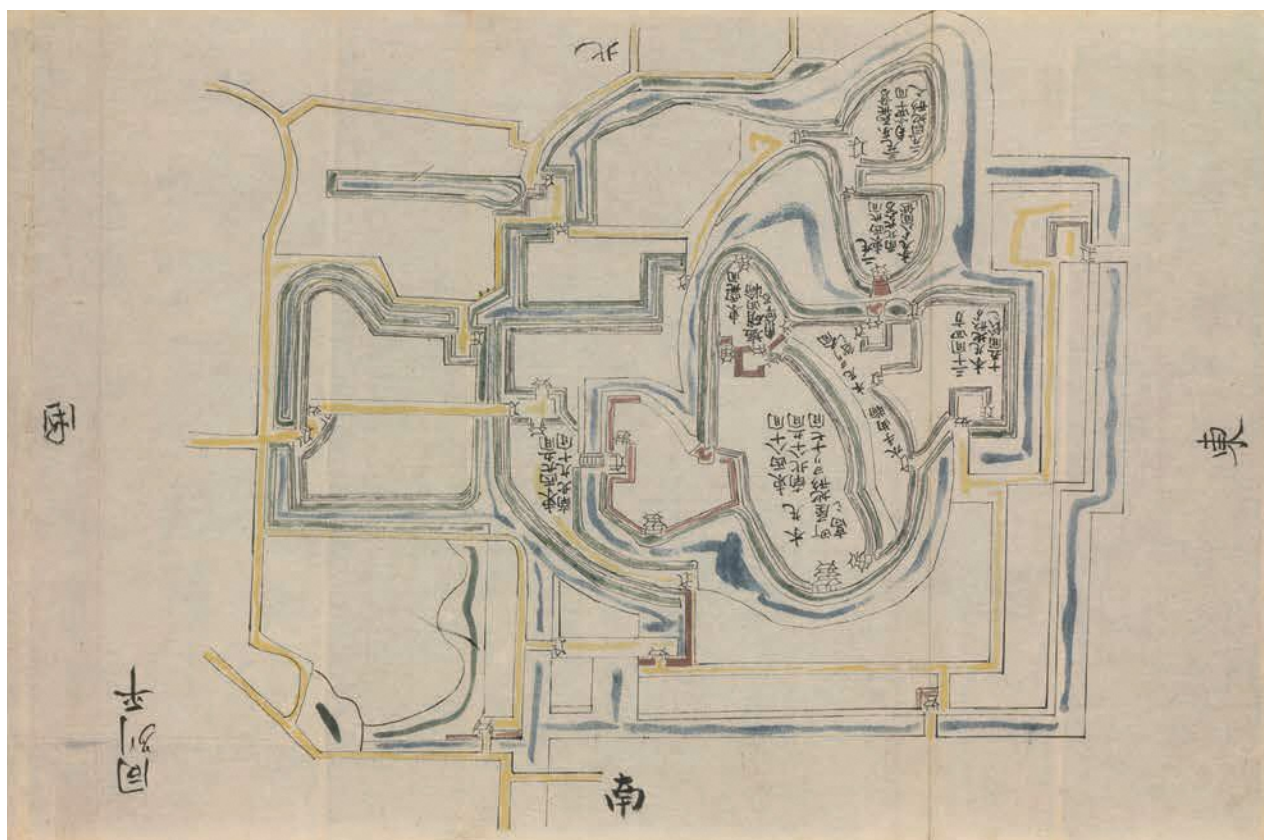


42 奥州平城図

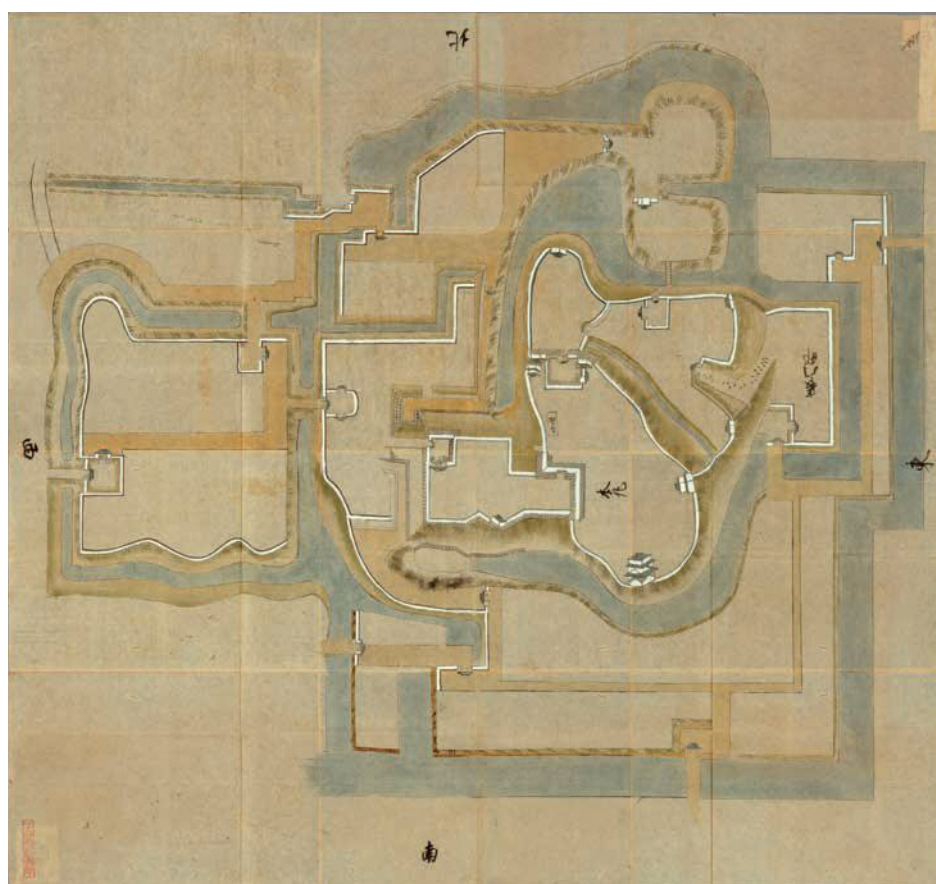
国立国会図書館デジタルコレクション（請ほ167）



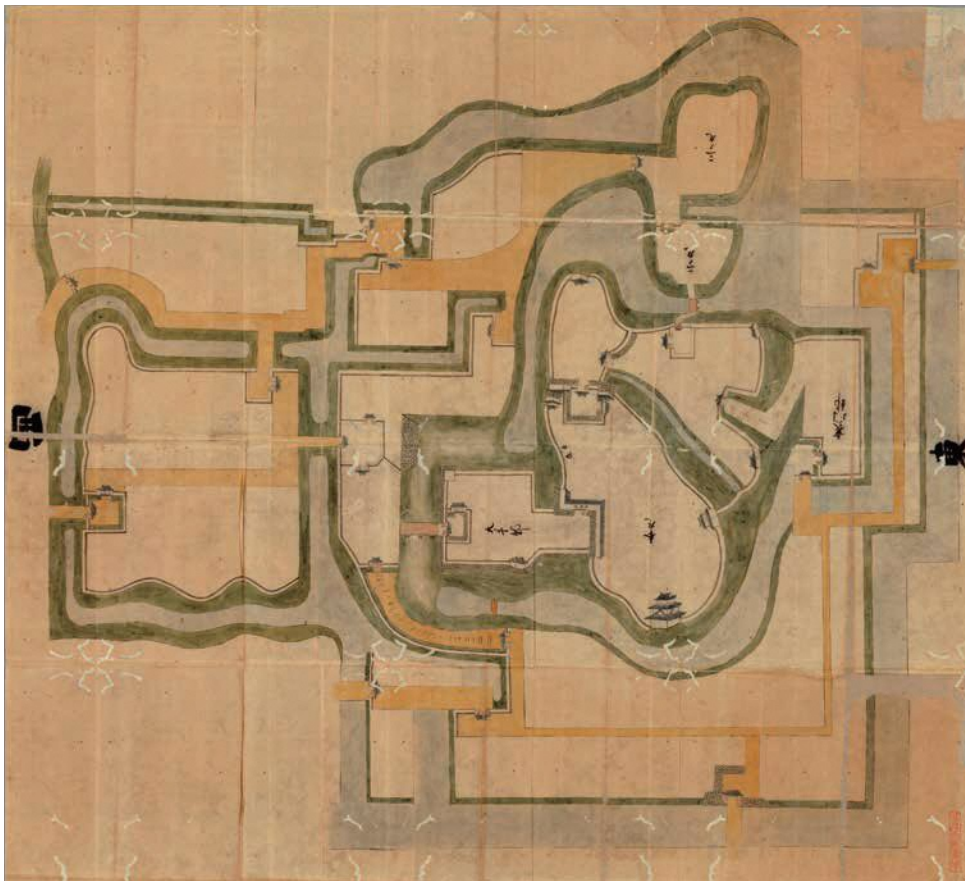
43 奥州平城図 国立国会図書館デジタルコレクション (請を二一81)



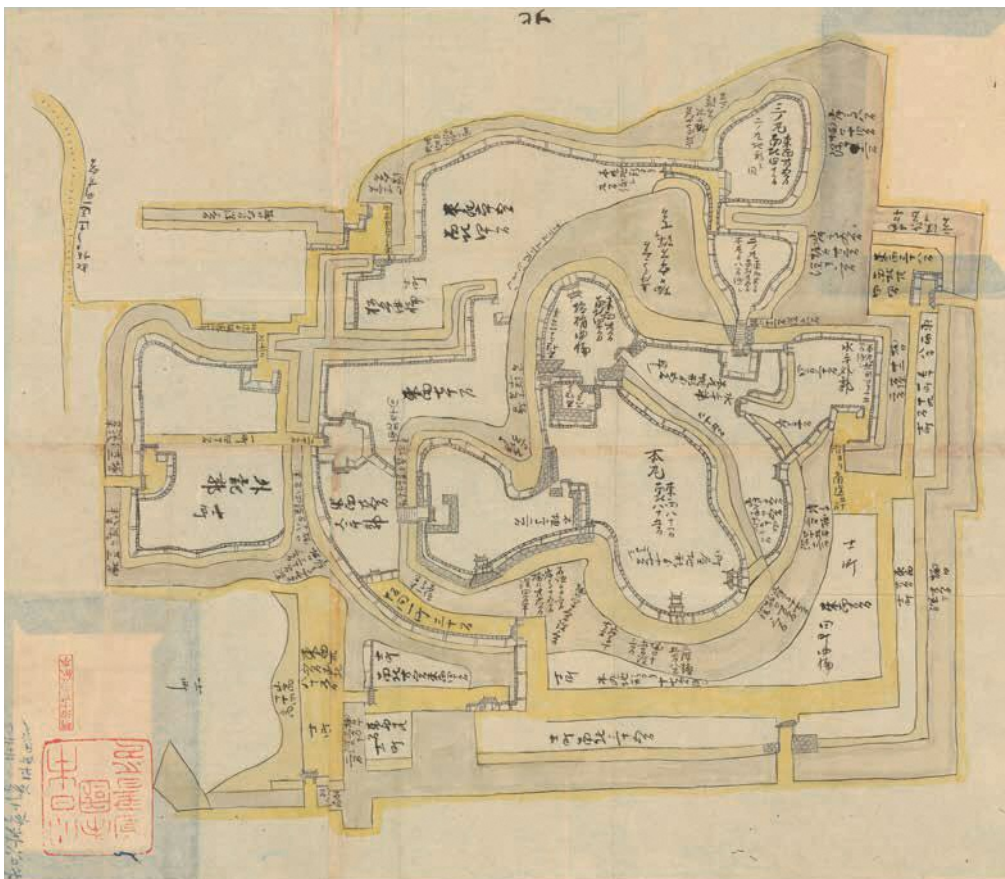
44 磐城之城絵図 国立国会図書館デジタルコレクション (請本別20一1)

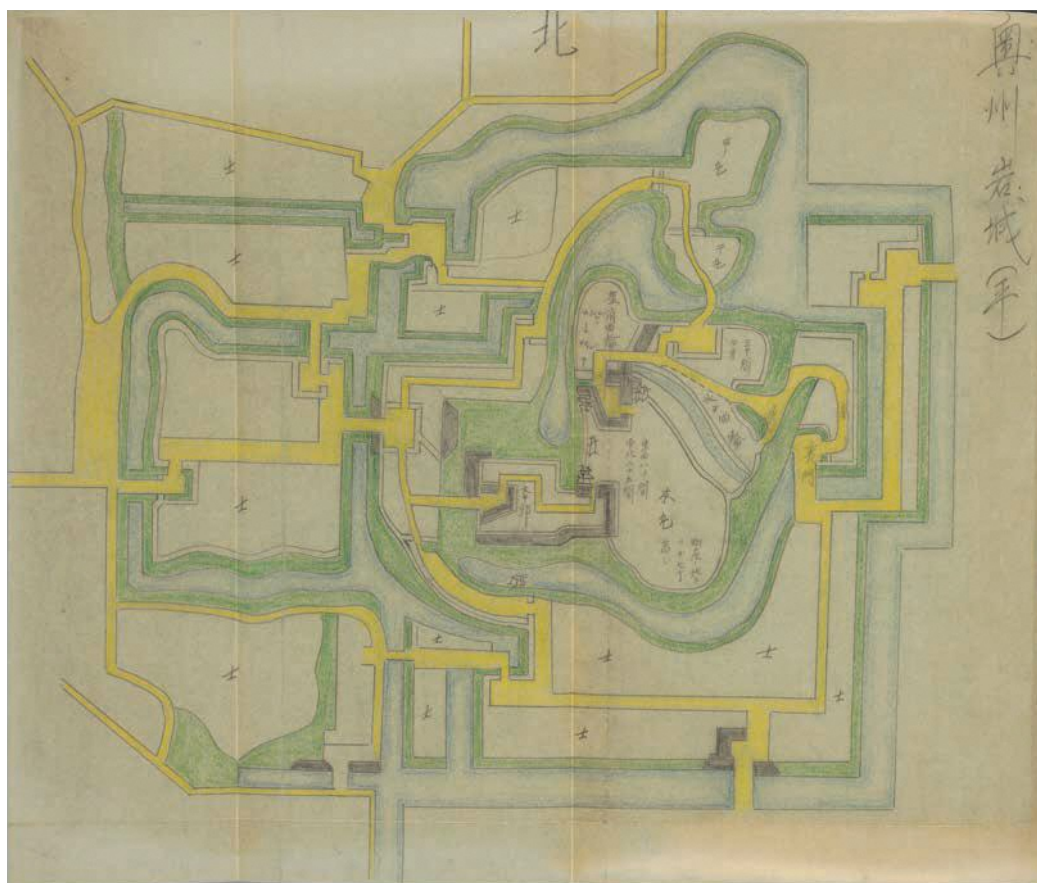


45 奥州平城之図 国立国会図書館デジタルコレクション (請本別20-1)



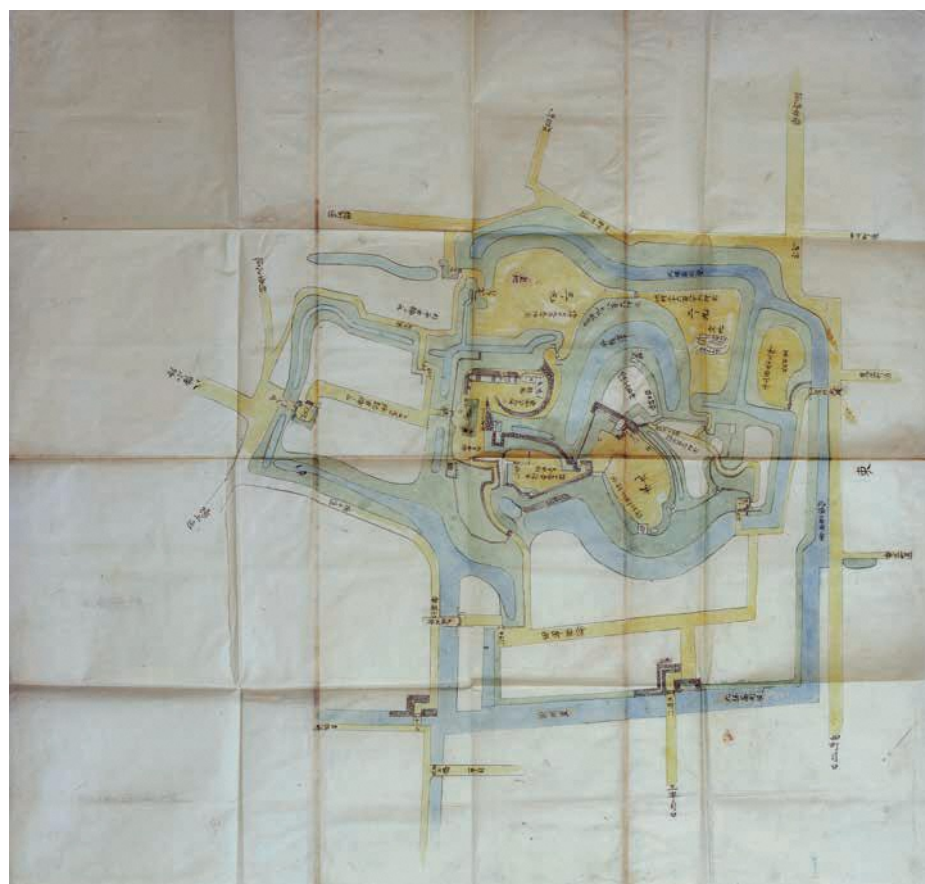
46 奥州岩城之城図 国立公文書館デジタルアーカイブ (請176-0282)





47 奥州岩城平城図（昭和初期カ）

国立国会図書館デジタルコレクション（請本別20-4）



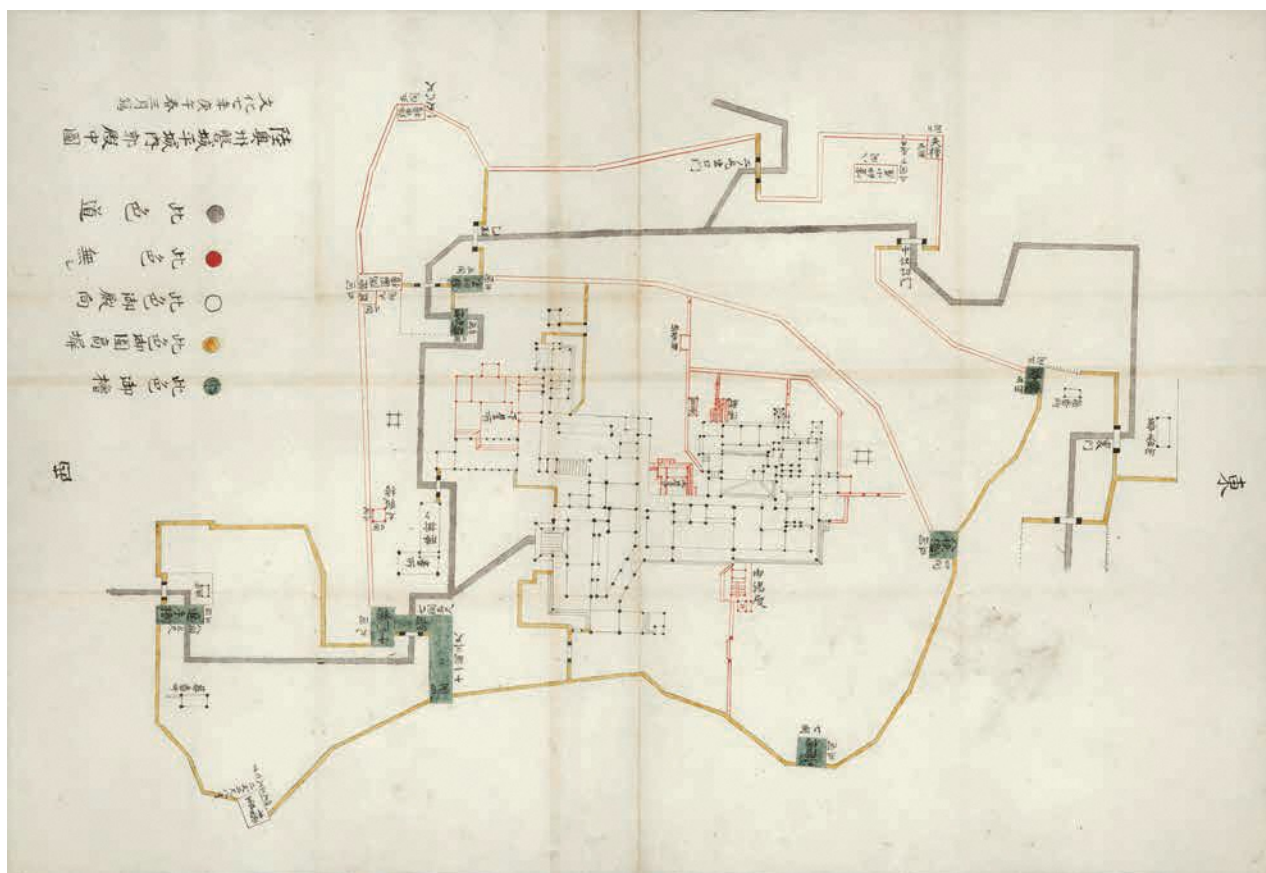
48 平城図（明治5年（1872））

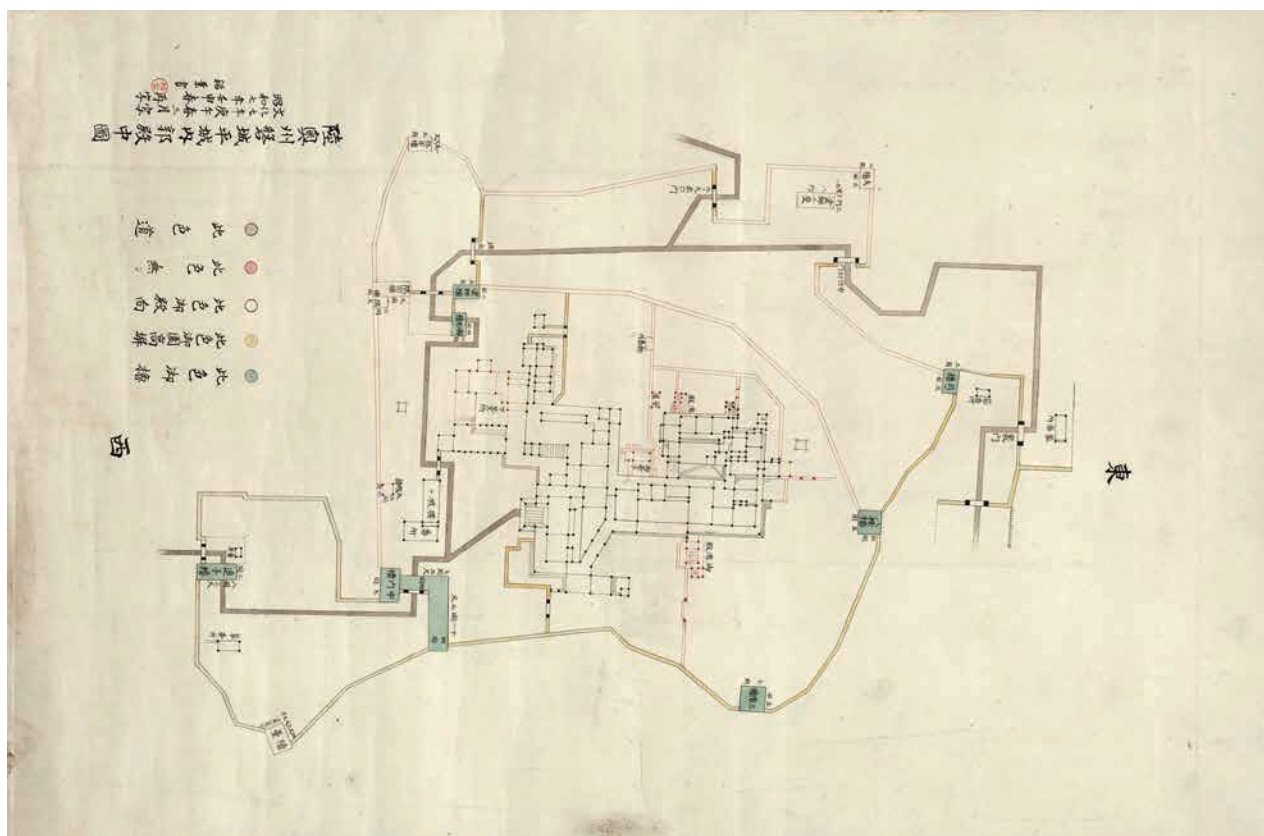
富原文庫

49 城郭之図(明治6年(1873)力) 福島県立図書館

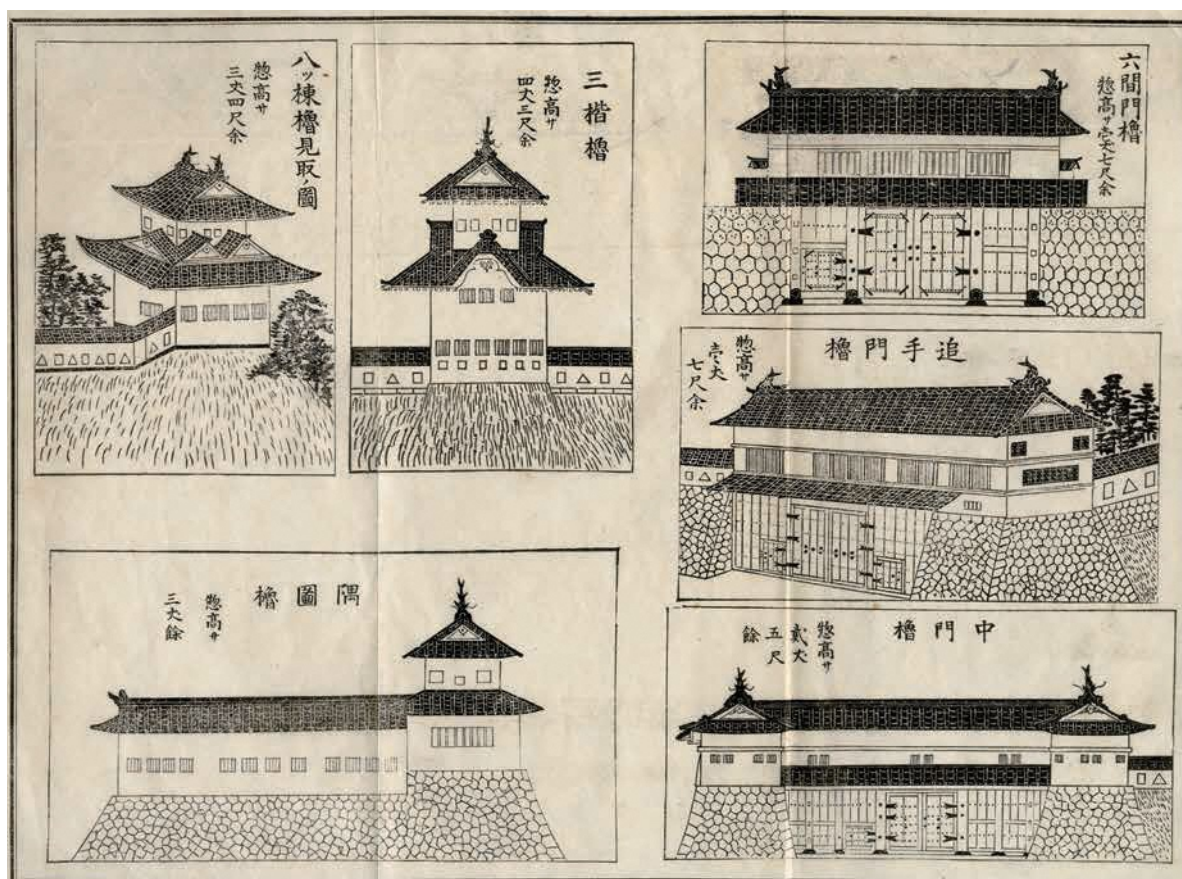


50 陸奥州磐城平城内郭殿中図(文化7年(1810)3月) 個人蔵



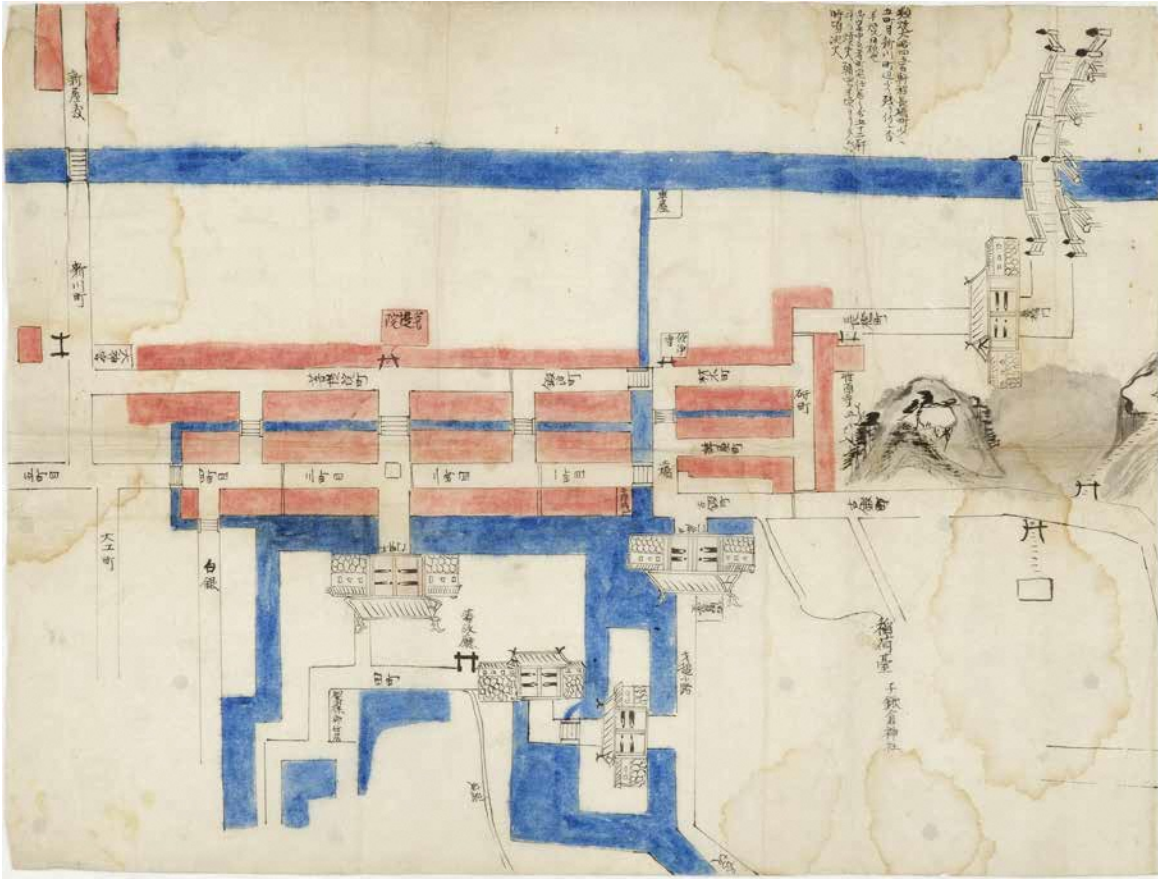


磐城平城戊辰當年現在拾槽ノ内六槽ノ圖



53

旧平城下類焼大略図(明治3年(1870)2月力) 個人蔵



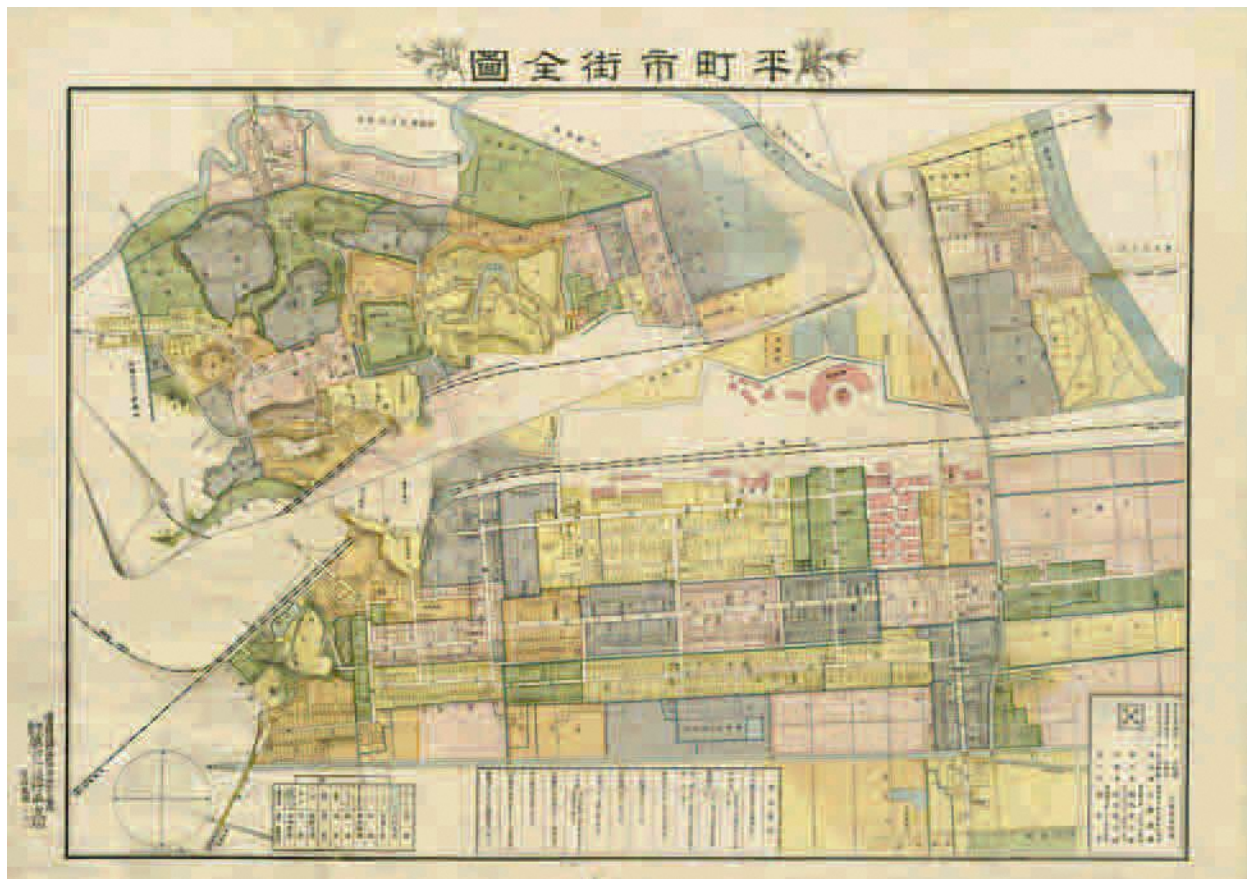
54

岩城国平城木図(元文2年(1737)9月15日) 延岡市内藤記念館





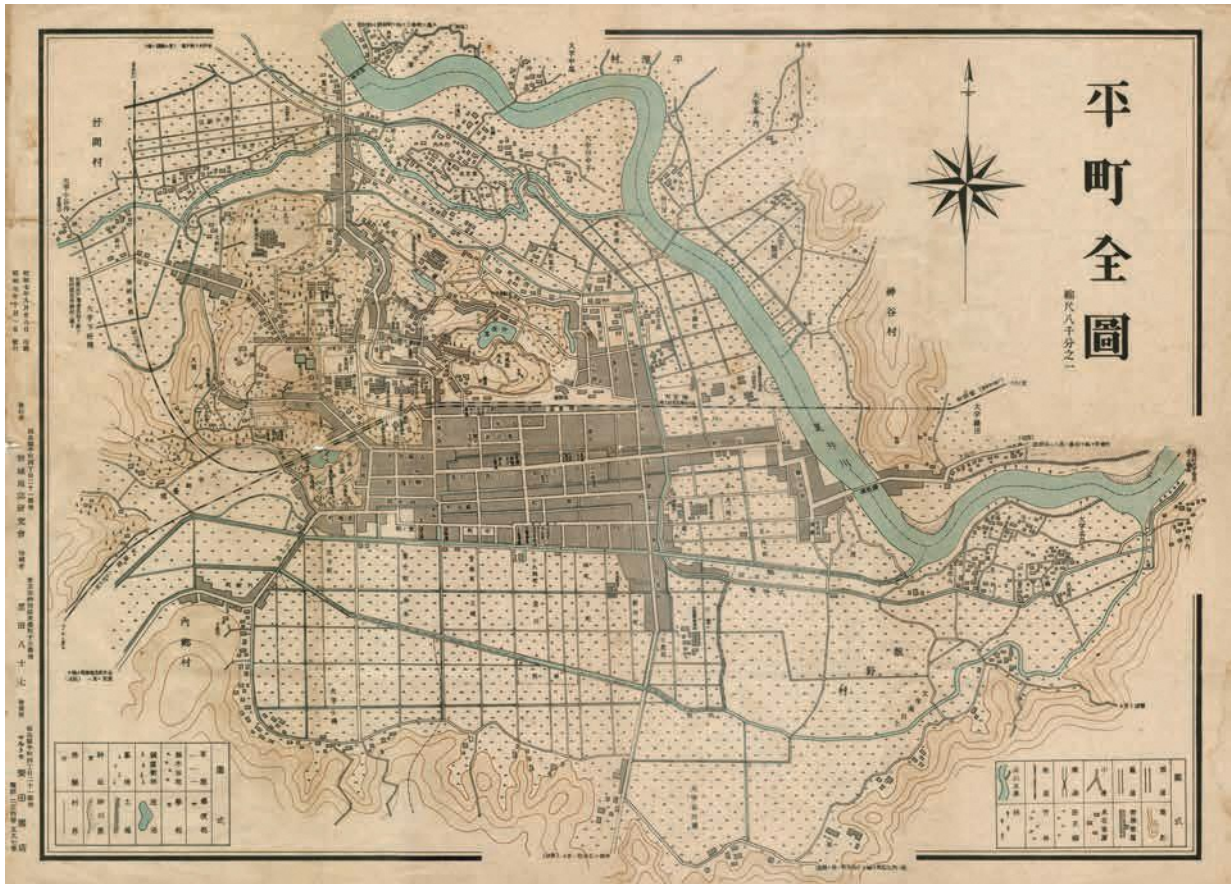
55 平町全圖（明治末期カ）
いわき総合図書館



56 平町市街全圖（大正8年（1919））
いわき総合図書館

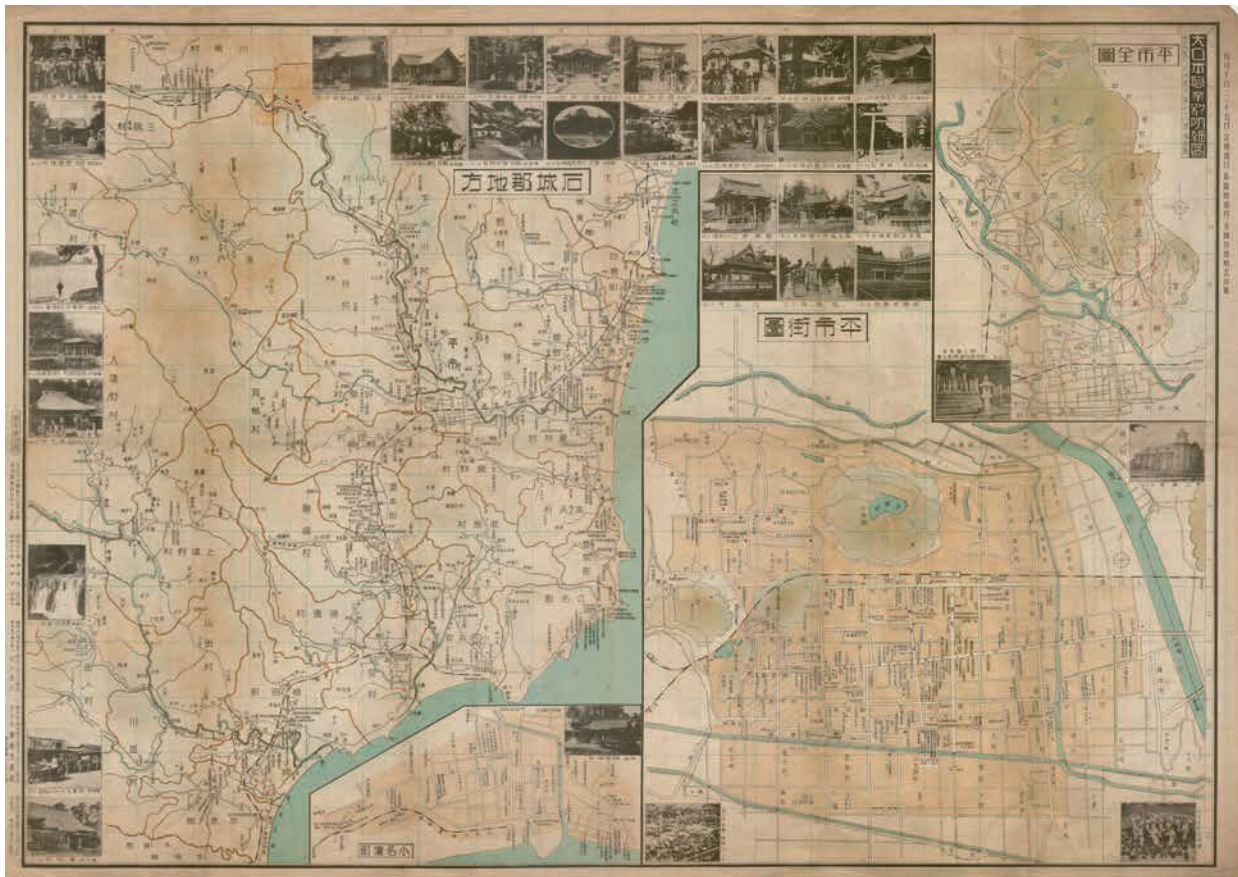
57 平町全図 (昭和7年 (1932))

いわき総合図書館



58 大日本職業別明細図 (昭和17年 (1942))

いわき総合図書館



59 平市空中写真（U S A - R 4 2 1 昭和22年（1947）撮影）（写真左が北）

国土地理院



絵図記載の文字資料について

18 「岩城城修覆願絵図」 寛文11年9月8日

(絵図左下)

惣土手所々大小拾五ヶ所崩申候。拾五ヶ所之
豎横合百八拾三間余 豎九拾八間余、横八拾四間余
右修復此度奉願候。以上。

寛文十一辛亥年九月八日 内藤左京亮 御書判

19 「磐城御城修理願下絵図」 延宝4年2月4日

(絵図左下)

- ・ 此朱引の角出張、かうばい事の外急に御座候て度々崩申候。土を取かうばいをのべ、此絵図のごとく仕度奉願候。
- ・ 此辺水際土手崩申候間、土留少ツツ石垣に仕度候。惣て水際少ツツ崩申候間、土留石垣に仕度奉願候。
- ・ 此橋下の堀底、外の地形より拾間程高く御座候。水留仕にても常

に水無御座候間、此内を道に用、絵図のごとく仕度奉願候。左様に仕候得バ、往来外より急二不申候。此橋の前後左右、かうばい急に御座候故、土手度々崩申候。只今橋御座候所、かうばい急成ル所に柱を立、其上高き所に懸り申候ゆへ、風雨もつよく当り破損度々仕候。本城への虎口、此方には此橋ばかりにて御座候故、崩申候得ハ往来迷惑仕候。然は、此朱引の所へ虎口を寄、土橋に仕度奉願候。左様に仕候ハバ、土手前後持合、崩申間敷奉存候。土橋の土ハ此橋の前の郭、本城よりも少高く御座候間、堀際の土を取下ゲ土橋築立可申候。如此仕候得バ、土手のかうばい如何様にも仕能御座候。

(絵図左中)

- ・ 此朱引の辺、土手切々崩申候。土留少々石垣に仕度奉願候。

(絵図の大手郭の部分)

- ・ 此はちまき石垣内へしさらせつき直シ、土手のかうばいのべ申度奉存候。

(絵図上部の左側)

- ・ 此左右の石垣悪敷、崩申候間、つき直シ度奉願候。

(絵図上部の中央部)

・此辺の土手崩申候間、上ノ方にて土を取かうばいのべ、土留少々石垣に仕度奉願候。

・此朱引の通、土手の中程をきりさげ道に仕、土留少々石垣に仕度奉願候。左様に仕候得バ、土手急成ル所ゆるく罷成候。

（絵図の右側）

・此坂ノ左右土手崩申候。土留少々石垣に仕度奉願候。
・此升形の内土手崩申候間、土留石垣に仕度奉願候。

（絵図上部の左端）

延宝四丙辰年二月四日 内藤左京亮（書判）

27 「岩城平城改築ノ絵図」 延宝8年閏8月18日

（絵図上部の左端）

惣土手所々大小式拾九箇所崩申候。廿九ヶ所之

豎横合三百八拾三間餘 豎百四拾壹間余、横式百四拾貳間余
右如元連々築直申度奉願候。以上。

延宝八庚申年閏八月十八日 内藤左京亮

（絵図の上部、北側から時計まわりに）

（北側）

・此所高五間、横拾二間、崩申候。
・此所高七間、横五間、崩申候。

（東側）

・此所先年も崩申候付、土留石垣奉願候。未普請不仕候。又此度高六間、横六間、崩申候。

（南側）

・此所高二間、横二間余、崩申候。
・此所高五間、横十一間、崩申候。
・此所高六間、横拾五間余、崩申候。
・此所高拾間、横七間、崩申候。
・此所高二間、横四間、崩申候。
・此所高二間、横四間、崩申候。
・此所高二間、横三間余、崩申候。
・此所高二間、横五間、崩申候。
・此所高五間、横九間、崩申候。
・此所高八間、横拾八間、崩申候。
・此所高二間、横三間、崩申候。
・此所高四間、横五間余、崩申候。

(西側)

- ・此所先年も崩申候付、土留石垣奉願候。未普請不仕候。又此度高七間、横四間、崩申候。
 - ・此所先年も崩申候付、土留石垣奉願候。未普請不仕候。又此度高九間余、横二十間、崩申候。
 - ・此所高二間、横七間、崩申候。
 - ・此所高二間、横四間、崩申候。
 - ・此所高三間余、横五間余、崩申候。
 - ・此所高二間、横二間余、崩申候。
 - ・此所高七間、横十六間、崩申候。
 - ・此所高五間、横十間余、崩申候。
- (内記曲輪の東側)
- ・此所高四間、横六間、崩申候。

(内記曲輪の西側)

- ・此所高九間余、横二間余、崩申候。
- ・此所高二間、横四間余、崩申候。
- ・此所高六間余、三間余、崩申候。

(大手外曲輪の西側)

- ・此所高六間、横四拾五間余、崩申候。

(大手外曲輪の東側)

- ・此所先年堀の門道に奉願候。未普請不仕候。高九間余、横五間余、崩申候。

29 「奥州磐城之城絵図」 貞享3年2月7日

(絵図上部の左端)

磐城之城普請之儀、先年内藤左京大夫絵図朱星仕奉窺候故、連々普請可申付旨被成下御奉書候。朱星十八ヶ所は出来仕候。青星拾壹ヶ所未出来不仕候。前廣被仰出候通、連々普請仕度奉願候。以上。

貞享三丙寅年二月七日 内藤能登守

30 「岩城城廓之図」 貞享3年2月7日

(絵図上部の左端)

磐城之城普請之儀、先年内藤左京大夫絵図朱星仕奉窺候故、連々普請可申付旨被成下御奉書候。朱星十八ヶ所は出来仕候。青星拾壹ヶ所未出来不仕候。前廣被仰出候通、連々普請仕度奉願候。以

上。

貞享三丙寅年二月七日 内藤能登守

32 「陸奥国磐城平城絵図」寛政7年3月

(絵図上部の左端)

陸奥国磐城平城外郭破損所

- 一、南方搔槌小路門石垣、幅四間余、竪七間余、崩落申候。
- 一、西方六間門塀下石垣、幅三間余、竪壹丈壹尺余、崩落申候。
- 一、同亘櫓下石垣、幅八尺余、竪七尺余、孕出申候。
- 一、同塀下石垣、幅貳尺余、竪四間余、孕出申候。
- 一、同亘櫓下石垣、幅壹間余、竪壹間余、孕出申候。
- 一、同亘櫓下石垣、幅貳間半、竪貳間、孕出申候。

右石垣六ヶ所崩落孕出候ニ付築直之儀、絵図面朱引之通、以連々如元修補仕度奉願候。以上。

寛政七乙卯三月 安藤対馬守 印判書判

(絵図左側を南から北へ)

- ・此所石垣、幅四間余、竪七間余、崩落申候。
- ・此所塀下石垣、幅三間余、竪壹丈壹尺余、崩落申候。
- ・此所亘櫓下石垣、幅八尺余、竪七尺余、孕出申候。
- ・此所塀下石垣、幅貳尺余、竪四間余、孕出申候。

・此所亘櫓下石垣、幅壹間余、竪壹間余、孕出申候。

・此所亘櫓下石垣、幅貳間半、竪貳間、孕出申候。

33 「陸奥国磐城平城絵図」嘉永6年10月

(絵図上部の左端)

陸奥国磐城平城破損所見

- 一、外郭石垣崩落 壹箇所
- 右石垣崩落壹箇所所有之候付而、修補之事、
絵図朱引之通、以連々如元申付度奉願候。以上。
嘉永六癸丑十月 安藤対馬守(印判)(書判)

*凡例は「史料編」に沿う。ただし、改行は原本通りではない。

*絵図中の文字史料のうち一部を抜粋したものである。

令和4年2月1日発行

磐城平城文献等調査報告書

発行 い わ き 市
〒970-8686 福島県いわき市平字梅本21 電話0246-22-1111(代)

編集 公益財団法人いわき市教育文化事業団
〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町手這50-1 電話0246-68-6775

印刷 八幡印刷株式会社
〒970-8026 福島県いわき市平字田町82番地の13 電話0246-23-1471(代)
